



ThinkSystem SR850 V4

システム構成ガイド



マシン・タイプ: 7DJT、7DJS、および 7DJU

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている安全情報および安全上の注意を読んで理解してください。

https://pubs.lenovo.com/safety_documentation/

さらに、ご使用のサーバーに適用される Lenovo 保証規定の諸条件をよく理解してください。以下に掲載されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>

第 1 版 (2025 年 9 月)

© Copyright Lenovo 2025.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

目次	i	背面システム LED	44
安全について	iii	プロセッサ・ボード LED	44
安全検査のチェックリスト	iv	システム I/O ボード LED	46
第 1 章. 概要	1	XCC システム管理ポート LED	49
機能	1	外部診断ハンドセット	49
技術ヒント	2	第 3 章. 部品リスト	57
セキュリティー・アドバイザー	3	電源コード	60
仕様	3	第 4 章. 開梱とセットアップ	61
技術仕様	3	サーバーのパッケージ内容	61
機械仕様	7	サーバーを識別し、Lenovo XClarity Controller に アクセスする	61
環境仕様	8	サーバー・セットアップ・チェックリスト	63
管理オプション	13	第 5 章. システム構成	67
第 2 章. サーバー・コンポーネント	17	Lenovo XClarity Controller のネットワーク接続の設 定	67
前面図	17	Lenovo XClarity Controller 接続用の USB ポートの 設定	67
2.5 インチ ベイを装備したサーバー・モデル の前面図	17	ファームウェアの更新	68
E3.S 1T ベイを搭載したサーバー・モデルの 前面図	20	ファームウェアの構成	73
E3.S 2T ベイを搭載したサーバー・モデルの 前面図	22	メモリー・モジュール構成	74
背面図	25	ソフトウェア・ガード・エクステンションズ (SGX) を有効にする	74
3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モ デルの背面図	26	RAID 構成	74
4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モ デルの背面図	28	オペレーティング・システムのデプロイ	75
上面図	30	サーバー構成のバックアップ	76
3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モ デルの上面図	30	付録 A. ヘルプおよび技術サポートの 入手	77
4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モ デルの上面図	32	依頼する前に	77
システム・ボード・アセンブリのレイアウト	33	サービス・データの収集	78
システム・ボード・アセンブリ・コネク ター	33	サポートへのお問い合わせ	79
システム・ボード・アセンブリのスイッ チ	35	付録 B. 資料とサポート	81
システム LED と診断ディスプレイ	36	資料のダウンロード	81
システム LED と診断ディスプレイによるトラブ ルシューティング	37	サポート Web サイト	81
ドライブ LED	37	付録 C. 注記	83
E3.S CMM LED	38	商標	83
前面オペレーター・パネルの LED とボタン	38	重要事項	84
漏水検知センサー・モジュール LED	40	電波障害自主規制特記事項	84
パワー・サブライ LED	41	台湾地域 BSMI RoHS 宣言	85
背面 M.2 LED	42	台湾地域の輸出入お問い合わせ先情報	85

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安裝本产品之前，请仔细阅读 Safety Information（安全信息）。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας (safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

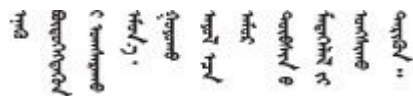
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་ཁུངས་འདི་བདེ་སྤྱད་མ་བྱས་གོང་། སྐྱོར་གྱི་ཡིད་གཟབ་
བྱ་འདྲ་མིན་ཡིད་པའི་འོད་མེར་བལྟ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjibinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjibinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

安全検査のチェックリスト

サーバーで危険をもたらす可能性のある状況を識別するには、このセクションの情報を使用します。各マシンには、設計され構築された時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するために義務づけられている安全装置が取り付けられています。

注：この製品は、職場規則の §2 に従って、視覚的なディスプレイ作業場での使用には適していません。

注：サーバーのセットアップは、サーバー・ルームでのみ行います。

警告：

この装置は、NEC、IEC 62368-1 および IEC 60950-1、および電子機器 (オーディオ/ビデオ、情報および通信テクノロジー分野に属するもの) の安全基準に定められているように、訓練を受けた担当員のみが設置および保守できます。Lenovo では、お客様が装置の保守を行う資格を持っており、製品の危険エネルギー・レベルを認識する訓練を受けていることを想定しています。装置へのアクセスにはツール、ロック、鍵、またはその他のセキュリティー手段を使用して行われ、その場所に責任を持つ認証機関によって制御されます。

重要：オペレーターの安全確保とシステム機能の正常実行のためには、サーバーの接地が必要です。電源コンセントの適切な接地は、認定電気技術員により検証できます。

危険をもたらす可能性のある状況がないことを確認するには、次のチェックリストを使用します。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切断されていることを確認します。
2. 電源コードを検査します。
 - 接地線を含む 3 線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。3 線式接地線の導通が、外部接地ピンとフレーム・アース間を計器で測定して、0.1 オーム以下であることを確認します。
 - 電源コードが、正しいタイプのものであるか。
サーバーで使用できる電源コードを参照するには、次のようにします。
 - a. 以下へ進んでください。

<http://dcsc.lenovo.com/#/>

- b. 「Preconfigured Model (事前構成モデル)」または「Configure to order (注文構成製品)」をクリックします。
 - c. サーバーのマシン・タイプおよびモデルを入力して、コンフィギュレーター・ページを表示します。
 - d. すべての電源コードを表示するには、「Power (電源)」 → 「Power Cables (電源ケーブル)」の順にクリックします。
- 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
3. 明らかに Lenovo によるものでない改造箇所をチェックします。Lenovo 以外の改造箇所の安全については適切な判断を行ってください。
 4. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状態でないか、サーバーの内部をチェックします。
 5. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
 6. パワー・サプライ・カバーの留め金具 (ねじまたはリベット) が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

第 1 章 概要

ThinkSystem SR850 V4 サーバー (タイプ 7DJT、7DJS、および 7DJU) は、大容量ネットワーク・トランザクション処理に対応するように設計された、2U のラック・サーバーです。この高性能なマルチコア・サーバーは、高度なマイクロプロセッサ性能、柔軟性のある入出力 (I/O)、および高い管理能力を必要とするネットワーク環境に最適です。

図 1. ThinkSystem SR850 V4



機能

サーバーの設計においては、パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能などが重要な考慮事項でした。これらの設計機能を用いることで、現在のニーズに応じてシステム・ハードウェアをカスタマイズしたり、将来に備えて柔軟性の高い機能拡張を準備したりすることができます。

サーバーは、次の機能とテクノロジーを実装しています。

- **Features on Demand**

サーバーまたはサーバー内に取り付けられたオプション・デバイスに Features on Demand 機能が組み込まれている場合、アクティベーション・キーを注文して機能をアクティブ化することができます。Features on Demand の詳細については、以下を参照してください。

<https://fod.lenovo.com/lkms>

- **Lenovo XClarity Controller (XCC)**

Lenovo XClarity Controller は、Lenovo ThinkSystem サーバー・ハードウェア用の共通管理コントローラーです。Lenovo XClarity Controller は、複数の管理機能を、サーバーのシステム・ボード (システム・ボード・アセンブリー) にある単一のチップに統合します。Lenovo XClarity Controller に固有の機能として、パフォーマンスの改善、リモート・ビデオの解像度の向上、およびセキュリティ・オプションの強化が挙げられます。

このサーバーは、Lenovo XClarity Controller 3 (XCC3) をサポートしています。Lenovo XClarity Controller 3 (XCC3) の追加情報については、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> を参照してください。

- **UEFI 準拠のサーバー・ファームウェア**

Lenovo ThinkSystem ファームウェアは、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) に対応しています。UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部デバイス間の標準インターフェースを定義します。

Lenovo ThinkSystem サーバーは、UEFI 準拠オペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および BIOS ベースのアダプターのほか、UEFI 準拠アダプターをブートすることができます。

注：このサーバーでは、ディスク・オペレーティング・システム (DOS) はサポートされていません。

- **Active Memory**

Active Memory 機能は、メモリー・ミラーリングを使用してメモリーの信頼性を向上させます。メモリー・ミラーリング・モードでは、2つのチャネル内の2ペアの DIMM にあるデータが同時に複製およ

び保管されます。障害が発生すると、メモリー・コントローラーはプライマリー・ペアの DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替えます。

- **大容量のシステム・メモリー**

このサーバーは、最大 64 個のレジスター付きデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) および Compute Express Link (CXL) メモリー・モジュールをサポートします。固有のメモリーのタイプおよび最大容量について詳しくは、[3 ページの「技術仕様」](#)を参照してください。

- **Lightpath 診断**

Lightpath 診断は、問題の診断に役立つ LED を提供します。Lightpath 診断について詳しくは、[37 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」](#)を参照してください。

- **Lenovo Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

このサーバーには、前面トップ・カバーの表面にあるサービス情報に QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、Lenovo サービス情報 Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

- **Active Energy Manager**

Lenovo XClarity Energy Manager は、データ・センターの電源および温度管理ソリューションで使用するツールです。Lenovo XClarity Energy Manager を使用して、サーバーの電源消費量と温度を監視および管理し、エネルギー効率を向上させることができます。

- **冗長ネットワーク接続**

Lenovo XClarity Controller を使用すると、適用可能なアプリケーションがインストールされている冗長イーサネット接続にフェイルオーバー機能が提供されます。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生すると、このプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、オプションの冗長イーサネット接続に自動的に切り替えられます。適切なデバイス・ドライバーをインストールすると、この切り替えはデータ損失なく、ユーザーの介入なしで実行されます。

- **冷却**

このサーバーは、さまざまな冷却オプションをサポートしています。

- ファンによるリダundant空冷により、ファン・ローターの 1 つに障害が起きても運転を継続可能。
- プロセッサから熱を奪う Lenovo Processor Neptune® Core Module による液体冷却。

- **ThinkSystem RAID のサポート**

ThinkSystem RAID アダプターは、構成を形成するためのハードウェア RAID (新磁気ディスク制御機構) サポートを提供し、RAID レベル 0、1、10、5、50、6、60、1 トリプル、10 トリプルをサポートします。

技術ヒント

Lenovo では、サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。技術ヒント (retain のヒントまたは Service Bulletin と呼ばれます) には、サーバーの動作に関する問題を回避または解決する手順について説明しています。

ご使用のサーバーで利用可能な技術ヒントを検索するには:

1. <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスしてご使用のサーバーのサポート・ページに移動します。
2. ナビゲーション・ペインで「How To's (ハウツー)」をクリックします。
3. ドロップダウン・メニューから「Article Type (記事タイプ)」→「Solution (ソリューション)」をクリックします。

画面に表示される指示に従って、発生している問題のカテゴリを選択します。

セキュリティ・アドバイザリー

Lenovo は、お客様とお客様のデータを保護するために、最高のセキュリティ基準に準拠した製品およびサービスを開発することをお約束しています。潜在的な脆弱性が報告された場合は、Lenovo 製品セキュリティ・インシデント対応チーム (PSIRT) が責任をもって調査し、お客様にご報告します。そのため、解決策の提供に向けた作業の過程で軽減計画が制定される場合があります。

現行のアドバイザリーのリストは、次のサイトで入手できます。

https://datacentersupport.lenovo.com/product_security/home

仕様

サーバーの機能と仕様の要約です。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があったり、一部の仕様が該当しない場合があります。

仕様のカテゴリーと各カテゴリーの内容については、以下の表を参照してください。

仕様のカテゴリー	技術仕様	機械仕様	環境仕様
コンテンツ	- プロセッサ - メモリー - M.2 ドライブ - ストレージ拡張 - 拡張スロット - 内蔵機能および I/O コネクター - ネットワーク - RAID アダプター - ホスト・バス・アダプター - システム・ファン - 電源入力 - デバッグのための最小構成 - オペレーティング・システム	- 寸法 - 重量	- 音響放出ノイズ - 周辺温度管理 - 環境

技術仕様

サーバーの技術仕様の要約です。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があったり、一部の仕様が該当しない場合があります。

プロセッサ
内蔵メモリー・コントローラーおよび Mesh UPI (Ultra Path Interconnect) トポロジー付きマルチコア Intel Xeon プロセッサをサポート。 - 最大 4 個の P コア搭載 Intel Xeon 6 プロセッサを新しい LGA 4710 ソケットに取り付け可能 - ソケットあたり最大 86 コア - 最大 3 つの UPI リンク (最大 24 GT/秒) - ホット設計電源 (TDP): 最大 350 ワット 注: サポートされるプロセッサのリストについては、 https://serverproven.lenovo.com を参照してください。

メモリー

メモリー構成およびセットアップの詳細については、「ユーザー・ガイド」または「ハードウェア・メンテナンス・ガイド」の「メモリー・モジュールの取り付けの規則および順序」を参照してください。

- 最大 64 個の DRAM DIMM をサポートする 64 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) スロット
 - E3.S 2T フォーム・ファクターの 16 個のコンピュート・エクスプレス・リンク (CXL) メモリー・モジュール
 - メモリー・モジュール・タイプ:
 - TruDDR5 6400 MHz RDIMM: 128 GB (2Rx4)
 - TruDDR5 6400 MHz 10x4 RDIMM: 32 GB (1Rx4)、64 GB (2Rx4)、96 GB (2Rx4)
 - TruDDR5 6400 MHz 3DS RDIMM: 256 GB (4Rx4)
 - CXL メモリー・モジュール (CMM): 96 GB、128 GB
- 注:
- E3.S CXL メモリー・モジュールは、E3.S 2T ベイを搭載したサーバー・モデルでのみサポートされます。
 - CXL メモリー・モジュールは、Windows Server および VMware ESXi ではサポートされていません。詳しくは、https://lenovopress.lenovo.com/osig#servers=sr850-v4-xeon-6-p-cores-7djt-7djs-7dju&os_families=microsoft-windows-server&os_families=vmware-esxi&support=all を参照してください。
 - Intel® VMD は E3.S 2T CMM ではサポートされていません。
- 速度: 動作速度は、プロセッサ・モデルおよび UEFI 設定によって異なります。
 - 1DPC: 6,400 MT/秒
 - 2DPC: 5,200 MT/秒
 - 容量:
 - 最小: 64 GB (2 x 32 GB 3DS RDIMM)
 - 最大: 16 TB (64 x 256 GB 3DS RDIMM)

サポートされているメモリー・モジュールのリストについては、<https://serverproven.lenovo.com> を参照してください。

M.2 ドライブ

このサーバーは、以下の容量を備えた最大 2 個の内蔵 M.2 ドライブをサポートします。

- 最大 2 台のホット・スワップ非対応の内蔵 M.2 ドライブ
- 3 個のライザーを搭載したサーバー構成で、最大 2 台の背面ホット・スワップ M.2 ドライブ

サポートされる M.2 ドライブのリストについては、<https://serverproven.lenovo.com> を参照してください。

ストレージ拡張

- 2.5 インチ ドライブ・ベイを搭載したサーバー・モデルで、最大 24 台の 2.5 インチ ホット・スワップ SAS/SATA/NVMe ドライブ
- E3.S ベイを搭載したサーバー・モデルで、最大 32 台の E3.S 1T ホット・スワップ・ドライブ

注:

- VROC をサポートします。
- トライアダプターは、U.3 ドライブを搭載した RAID をサポートします。
- 以下のコンポーネントが 1 つ以上システムに取り付けられている場合、サポートされるバックプレーンの最大数は 2 (16 台の 2.5 インチ ドライブ) です。
 - ThinkSystem Mellanox ConnectX-6 Dx 100GbE QSFP56 2-port PCIe Ethernet Adapter
 - ThinkSystem Nvidia ConnectX-7 NDR200/HDR QSFP112 2-Port PCIe Gen5 x16 InfiniBand Adapter
 - ThinkSystem Nvidia ConnectX-7 NDR400 OSFP 1-Port PCIe Gen5 Adapter
 - ThinkSystem 96GB TruDDR5 6400MHz (2Rx4) 10x4 RDIMM
 - ThinkSystem 128GB TruDDR5 6400MHz (2Rx4) RDIMM
- ThinkSystem 256GB TruDDR5 6400MHz (4Rx4) 3DS RDIMM がシステムに取り付けられている場合、サポートされるバックプレーンの最大数は 1 (8 台の 2.5 インチ ドライブ) です。

サポートされるドライブのリストについては、<https://serverproven.lenovo.com> を参照してください。

拡張スロット

- 最大 12 個の PCIe スロット (サーバー・モデルに応じて異なる)
- 最大 2 個の OCP スロット

グラフィックス・プロセッシング・ユニット (GPU)

このサーバーは、以下の GPU 構成をサポートします。

- 最大 4 個のシングル・ワイド LP GPU
 - 最大 2 個のダブル・ワイド FHFL GPU
- サポートされる GPU のリストについては、<https://serverproven.lenovo.com> を参照してください。

内蔵機能および I/O コネクター

- Lenovo XClarity Controller (XCC) は、サービス・プロセッサの制御および監視機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・キーボード、ビデオ、マウス、ならびにリモート・ドライブ機能を提供します。
 - このサーバーは、Lenovo XClarity Controller 3 (XCC3) をサポートしています。Lenovo XClarity Controller 3 (XCC3) の追加情報については、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> を参照してください。
- 前面コネクター:
 - Mini DisplayPort コネクター x 1 (オプション)
 - USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター x 1 (オプション)
 - USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター (USB 2.0 XCC システム管理対応) x 1 (オプション)
 - 外部診断コネクター x 1
- 内部コネクター:
 - 内部 USB 3.2 Gen1 (5 Gbps) コネクター x 1 (オプション)
- 背面コネクター:
 - OCP スロット 2 個
 - VGA コネクター x 1
 - シリアル・ポート x 1 (オプション)
 - XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) x 1
 - USB 3.2 Gen1 (5 Gbps) コネクター x 2

注：背面の下段の USB コネクターは、前面に USB コネクターがない場合、XCC システム管理対応の USB 2.0 コネクターとして機能します。

ネットワーク

- 各 OCP モジュールのイーサネット・コネクター x 2 または 4 (オプション)
- XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) x 1

RAID アダプター

オンボード NVMe ポート (ソフトウェア RAID サポート付き) (Intel VROC NVMe RAID)

- Intel VROC RAID1 のみ: アクティベーション・キーが必要であり、RAID レベル 1 のみをサポート
- Intel VROC 標準: アクティベーション・キーが必要であり、RAID レベル 0、1、および 10 をサポート
- Intel VROC プレミアム: アクティベーション・キーが必要であり、RAID レベル 0、1、5 および 10 をサポート

ハードウェア RAID 0、1

- ThinkSystem M.2 RAID B540p-2HS SATA/NVMe Enablement Kit
- ThinkSystem M.2 RAID B545i-2i SATA/NVMe Enablement Kit

ハードウェア RAID 0、1、10

- ThinkSystem M.2 B340i-2i NVMe Enablement Kit
- ThinkSystem RAID 545-8i PCIe Gen4 12Gb Adapter

RAID アダプター

ハードウェア RAID 0、1、10、5

- ThinkSystem RAID 5350-8i PCIe 12Gb Adapter

ハードウェア RAID 0、1、10、5、50、6、60

- ThinkSystem RAID 940-8i 4GB Flash PCIe Gen4 12Gb Adapter
- ThinkSystem RAID 940-8i 4GB Flash PCIe Gen4 12Gb Adapter for U.3
- ThinkSystem RAID 940-16i 8GB Flash PCIe Gen4 12Gb Adapter
- ThinkSystem RAID 940-16i 8GB Flash PCIe Gen4 12Gb Adapter for U.3

ハードウェア RAID 0、1、10、5、50、6、60、1 トリプル、10 トリプル

- ThinkSystem RAID 9350-8i 2GB Flash PCIe 12Gb Adapter
- ThinkSystem RAID 9350-16i 4GB Flash PCIe 12Gb Adapter

RAID/HBA アダプターについて詳しくは、[Lenovo ThinkSystem RAID アダプター](#)および[HBA リファレンス](#)または[Lenovo ThinkSystem M.2 アダプター](#)を参照してください。

ホスト・バス・アダプター

- ThinkSystem 4350-16i SAS/SATA 12Gb HBA
- ThinkSystem 440-16i SAS/SATA PCIe Gen4 12Gb HBA
- ThinkSystem 440-16e SAS/SATA PCIe Gen4 12Gb HBA

RAID/HBA アダプターについて詳しくは、「[Lenovo ThinkSystem RAID アダプター](#)および[HBA リファレンス](#)」を参照してください。

システム・ファン

サーバーは次のいずれかのファン・タイプをサポートします。

- 60 mm x 56 mm シングル・ローター・ファン 6 個
- 60 mm x 56 mm デュアル・ローター・ファン 6 個
- 60 mm x 56 mm デュアル・ローター・ウルトラ・ファン 6 個

注：同一サーバー内で異なるタイプのファンを混用しないでください。

電源入力

このサーバーは、N+N 冗長性を備えた最大 2 個の CRPS Premium (CFFv5) パワー・サプライをサポートします。以下は、サポートされているタイプのリストです。

- CRPS プレミアム (CFFv5)
 - 2000 ワット 230V/115V Titanium
 - 2700 ワット 230V/115V Titanium
 - 3200 ワット 230V/115V Titanium
 - 1300 ワット -48V DC
 - 1300 ワット HVAC/ HVDC
- CRPS
 - 2700 ワット 230V/115V Platinum

対応パワー・サプライ構成:

- 2 つの PSU: 1+1
- 1 つの PSU: 1+0 (2700 ワット CRPS Premium (CFFv5) PSU でのみサポート)

電源入力

重要：

- サーバーのパワー・サプライと冗長パワー・サプライは、電源定格、ワット数、またはレベルが同じである必要があります。
- 異なるベンダーの CRPS PSU の混用はサポートされていません。

警告：

- 240V DC 入力 (入力範囲: 180 ~ 300 V DC) は、中国本土でのみサポートされています。
- 240V DC 入力のパワー・サプライは、電源コードのホット・プラグ機能をサポートしていません。DC 入力でパワー・サプライを取り外す前に、サーバーの電源をオフにしてください。あるいはブレーカー・パネルで、または電源をオフにすることによって DC 電源を切断してください。次に、電源コードを取り外します。

注：

- 実際の電力効率はシステム構成によって異なります。
- CRPS Premium PSU のみが、オーバーサブスクリプション (OVS)、ゼロ出力モード、および仮想再取り付け (VR) をサポートしています。
- 次の Lenovo XClarity Controller オプションは、CRPS プレミアム (CFFv5) PSU が取り付けられている場合にのみサポートされます。
 - 「ゼロ出力モード」および「冗長性なし」などの電源冗長オプション。
 - 「サーバーの AC 電源サイクル」の下の「AC 電源サイクル・サーバー」オプション。

デバッグのための最小構成

- ソケット 1 および 2 に 2 つのプロセッサ
- スロット 10 および 26 に 2 つの DRAM メモリー・モジュール
- パワー・サプライ・ユニット 2 個
- システム・ファン 6 個
- 1 個の 2.5 インチ ドライブ、または 1 個の E3.S 1T ドライブ、または 1 個の M.2 ドライブ (デバッグ用に OS が必要な場合)

オペレーティング・システム

サポートおよび認定オペレーティング・システム:

- Microsoft Windows Server
- Red Hat Enterprise Linux
- SUSE Linux Enterprise Server
- カノニカル Ubuntu

参照:

- 利用可能なオペレーティング・システムの全リスト: <https://lenovopress.lenovo.com/osig>。
- OS デプロイメント手順: [75 ページの「オペレーティング・システムのデプロイ」](#)を参照してください。

機械仕様

サーバーの機械仕様の要約です。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があったり、一部の仕様が該当しない場合があります。

寸法
2U サーバー - 高さ: 86.5 mm (3.41 インチ) - 幅 (シャーシの外部の最も突出した部分): 447 mm (17.60 インチ) - 奥行き: 2.5 インチ ベイを装備したサーバー・モデル: 865 mm (34.06 インチ) - E3.S ベイを装備したサーバー・モデル: 905 mm (35.63 インチ)

重量
最大 42 kg (92.6 ポンド) (サーバー構成によって異なる)。

環境仕様

サーバーの環境仕様の要約です。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があったり、一部の仕様が該当しない場合があります。

音響放出ノイズ			
表 1. 公称音響放出ノイズ			
周辺温度 25° C の場合の音響パフォーマンス	作業モード	構成	
		標準	ストレージ・リッチ
公称平均 A 特性音響出力レベル、 $L_{WA,m}$ (B) 検証のための統計的加算器、 $K_v(B) = 0.4$	アイドル	6.5	6.5
	オペレーティング・モード 1	7.0	7.7
	オペレーティング・モード 2	7.7	8.3
公称平均 A 特性放射音圧レベル、 $L_{pA,m}$ (dB) バイスタンダー位置	アイドル	53	53
	オペレーティング・モード 1	57	65
	オペレーティング・モード 2	65	71

注：

- これら音響レベルは、管理された音響環境のもとで、ISO 7779 の規定の手順に従って測定されたもので、ISO 9296 に従って報告されています。
- アイドル・モードは、サーバーの電源がオンになっているが、意図した機能が動作しない状態です。オペレーティング・モード 1 は、CPU TDP の 50% です。オペレーティング・モード 2 は、CPU TDP の 100% です。
- 検証された音響サウンド・レベルは、次の構成に基づいているため、構成と状況によって変化する場合があります。
 - Typical: 4x 270W CPU, 32x 64GB RDIMM, 8x SAS HDD, 1x RAID 545-8i, 1x Intel E610-T4 10GBASE-T 4-port OCP, 2x 2000W PSU
 - Max: 4x 350W CPU, 64x 64GB RDIMM, 24x SAS HDD, 1x RAID 545-8i, 1x RAID 940-16i, 2x Intel E610-T4 10GBASE-T 4-port OCP, 2x 3200W PSU

周辺温度管理				
特定のコンポーネントを取り付ける場合に、周辺温度を調整します。				
ドライブ	ファン	周辺温度	プロセッサ TDP	サポートされるコンポーネント
8 x 2.5 インチ ドライブ	シングル・ローター	30°C 以下	270W 以下 2U 標準	64 GB 以下のメモリー・モジュール - AOC ケーブル - 非 AOC ケーブル
		45°C 以下	270W 以下 2U 標準	32 GB 以下のメモリー・モジュール
	デュアル・ローター	35°C 以下	270W 以下 2U 標準	64 GB 以下のメモリー・モジュール - 非 AOC ケーブル
		30°C 以下	350W 以下 2U 標準および 2U パフォーマンス	64 GB 以下のメモリー・モジュール - AOC ケーブル - 非 AOC ケーブル - SW GPU - Broadcom BCM57608 OCP
	デュアル・ローター・ウルトラ	45°C 以下	270W 以下 2U 標準	32 GB 以下のメモリー・モジュール
		35°C 以下	350W 以下 2U 標準および 2U パフォーマンス	64 GB 以下のメモリー・モジュール - 非 AOC ケーブル
		30°C 以下	350W 以下 2U 標準および 2U パフォーマンス	128 GB 以下のメモリー・モジュール - 背面 M.2 - AOC ケーブル - 非 AOC ケーブル - SW GPU - Broadcom BCM57608 OCP
		25°C 以下	350W 以下 2U 標準および 2U パフォーマンス	256 GB 以下のメモリー・モジュール - 背面 M.2 - AOC ケーブル - 非 AOC ケーブル - SW GPU - Broadcom BCM57608 OCP

周辺温度管理				
24 x 2.5 インチ ドライブ	シングル・ローター	30°C 以下	• 270W 以下 • 2U 標準	• 64 GB 以下のメモリー・モジュール • AOC ケーブル • 非 AOC ケーブル • Broadcom BCM57608 OCP
		45°C 以下	• 270W 以下 • 2U 標準	32 GB 以下のメモリー・モジュール
	デュアル・ローター	35°C 以下	• 270W 以下 • 2U 標準	• 32 GB 以下のメモリー・モジュール • 非 AOC ケーブル
		30°C 以下	• 350W 以下 • 2U 標準および 2U パフォーマンス	• 64 GB 以下のメモリー・モジュール • AOC ケーブル • 非 AOC ケーブル • SW GPU • Broadcom BCM57608 OCP
	デュアル・ローター・ウルトラ	45°C 以下	• 270W 以下 • 2U 標準	32 GB 以下のメモリー・モジュール
		35°C 以下	• 350W 以下 • 2U 標準および 2U パフォーマンス	• 64 GB 以下のメモリー・モジュール • 非 AOC ケーブル
		30°C 以下	• 350W 以下 • 2U 標準および 2U パフォーマンス	• 128 GB 以下のメモリー・モジュール • 背面 M.2 • AOC ケーブル • 非 AOC ケーブル • SW GPU • Broadcom BCM57608 OCP
		25°C 以下	• 350W 以下 • 2U 標準および 2U パフォーマンス	• 256 GB 以下 • 背面 M.2 • AOC ケーブル • 非 AOC ケーブル • SW GPU • Broadcom BCM57608 OCP

周辺温度管理				
24 x E3.S 1T ドライブ	デュアル・ローター・ウルトラ	30°C 以下	• 350W 以下 • 2U 標準および 2U パフォーマンス	• 128 GB 以下のメモリー・モジュール • 背面 M.2 • AOC ケーブル • 非 AOC ケーブル • SW GPU • Broadcom BCM57608 OCP
8 x 2.5 インチ ドライブまたは 8 x E3.S 1T ドライブ	デュアル・ローターまたはデュアル・ローター・ウルトラ	25°C 以下	• 210W 以下 • 2U 標準および 1U 標準	• 256 GB 以下 • AOC ケーブル • 非 AOC ケーブル • DW GPU • Broadcom BCM57608 OCP

環境
ThinkSystem SR850 V4 は、ほとんどの構成で ASHRAE クラス A2 仕様に準拠し、ハードウェア構成に応じて ASHRAE クラス A3 およびクラス A4 仕様にも準拠しています。動作温度が ASHRAE A2 規格を外れている場合は、システムのパフォーマンスに影響が出る場合があります。 ハードウェア構成に応じて、ThinkSystem SR850 V4 サーバーも、ASHRAE クラス H1 使用に準拠しています。動作温度が ASHRAE H1 規格を外れている場合は、システムのパフォーマンスに影響が出る場合があります。 • 室温: – 作動時 – ASHRAE クラス H1: 5°C ~ 25°C (41°F ~ 77°F)。900 m (2,953 フィート) を超える高度では、高度が 500 m (1,640 フィート) 上がるごとに、最大周辺温度が 1°C 減少。 – ASHRAE クラス A2: 10°C ~ 35°C (50°F ~ 95°F)。900 m (2,953 フィート) を超える高度では、高度が 300 m (984 フィート) 上がるごとに、最大周辺温度が 1°C 減少。 – ASHRAE クラス A3: 5°C ~ 40°C (41°F ~ 104°F)。900 m (2,953 フィート) を超える高度では、高度が 175 m (574 フィート) 上がるごとに、最大周辺温度が 1°C 減少。 – ASHRAE クラス A4: 5°C ~ 45°C (41°F ~ 113°F)。900 m (2,953 フィート) を超える高度では、高度が 125 m (410 フィート) 上がるごとに、最大周辺温度が 1°C 減少。 – サーバー電源オフ時: 5°C ~ 45°C (41°F ~ 113°F) – 出荷時/ストレージ: -40°C ~ 60°C (-40°F ~ 140°F) • 最大高度: 3050 m (10,000 フィート) • 相対湿度 (結露なし): – 作動時 – ASHRAE クラス H1: 8% ~ 80%、最大露点: 17°C (62.6°F) – ASHRAE クラス A2: 8% ~ 80%、最大露点: 21°C (70°F) – ASHRAE クラス A3: 8% ~ 85%、最大露点: 24°C (75°F) – ASHRAE クラス A4: 8% ~ 90%、最大露点: 24°C (75°F) – 配送時/保管時: 8% ~ 90% • 粒子汚染 注意: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、12 ページの「粒子汚染」を参照してください。 注: このサーバーは標準データ・センター環境向けに設計されており、産業データ・センターに配置することが推奨されます。

水の要件

ThinkSystem SR850 V4 は、以下の環境でサポートされます。

- 最大圧力: 3 bars
- 吸水口の温度および水流量:
 - Processor Neptune® Core Module (NeptCore) を搭載したサーバーの場合、吸水口温度と水流量は次のようになります。

吸水口温度	水流量
50°C (122°F)	サーバー当たり毎分 1.5 リットル
45°C (113°F)	サーバー当たり毎分 1 リットル
40°C (104°F) 以下	サーバー当たり毎分 0.5 リットル

注意：システム側冷却ループを最初に満たすために必要な水は、脱イオン水、逆浸透水、脱イオン水または蒸留水のような、無菌で無菌の水 (<100 CFU/ml) でなければなりません。水は、インライン 50 ミクロンフィルター (約 288 メッシュ) でろ過する必要があります。水は、抗生物学および腐食防止手段で処理する必要があります。環境品質は、影響を受けるコンポーネントに関する保証とサポートを受けるために、システムの耐用年数にわたって維持する必要があります。詳しくは、「[Lenovo Neptune 直接水冷モジュール](#)」を参照してください。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されているデバイスにリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、デバイスの誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限として見なしたり、あるいは使用したりしてはなりません。温度や大気中の湿気など他の多くの要因が、粒子や環境腐食性およびガス状の汚染物質移動のインパクトに影響することがあるからです。本書で説明されている特定の制限が無い場合は、人体の健康と安全の保護に合致するよう、微粒子やガスのレベル維持のための慣例を実施する必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルがデバイス損傷の原因であると Lenovo が判断した場合、Lenovo は、デバイスまたは部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 2. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
反応性ガス	ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の重大度レベル G1 ¹ : - 銅の反応レベルが 1 カ月あたり 200 オングストローム未満 ($\text{\AA}/\text{月} \sim 0.0035 \mu\text{g}/\text{cm}^2\text{-時間}$ の重量増加) である必要があります。² - 銀の反応レベルが 1 カ月あたり 200 オングストローム未満 ($\text{\AA}/\text{月} \sim 0.0035 \mu\text{g}/\text{cm}^2\text{-時間}$ の重量増加) である必要があります。³ - ガス腐食性の反応監視は、床から 4 分の 1 および 4 分の 3 のフレイム高さ、または気流速度がより高い場所で、吸気口側のラックの前面の約 5 cm (2 インチ) で行う必要があります。
浮遊微小粒子	データ・センターは、ISO 14644-1 クラス 8 の清潔レベルを満たす必要があります。 エアサイド・エコノマイザーのないデータ・センターの場合、以下のいずれかのろ過方式を選択して、ISO 14644-1 クラス 8 の清潔レベルを満たすことができます。 - 部屋の空気は、MERV 8 フィルターで継続的にフィルタリングできます。 - データ・センターに入る空気は、MERV 11 またはできれば MERV 13 フィルターでフィルタリングできます。

表 2. 微粒子およびガスの制限 (続き)

汚染物質	制限
	エアサイド・エコノマイザーを備えるデータ・センターの場合、ISO クラス 8 の清潔レベルを実現するためのフィルターの選択は、そのデータ・センターに存在する特定の条件によって異なります。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% RH を超えていなければなりません。⁴ • データ・センターには、亜鉛ウィスカーがあってはなりません。⁵
¹ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A. ² Å/月における腐食生成物の厚みにおける銅腐食の増加率と重量増加率との間の同等性の導出では、Cu₂S および Cu₂O が均等な割合で増加することを前提とします。 ³ Å/月における腐食生成物の厚みにおける銀腐食の増加率と重量増加率との間の同等性の導出では、Ag₂S のみが腐食生成物であることを前提とします。 ⁴ 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。 ⁵ 表面の異物は、データ・センターの 10 のエリアから、金属スタブの導電粘着テープの直径 1.5 cm のディスクでランダムに収集されます。電子顕微鏡の解析における粘着テープの検査で亜鉛ウィスカーが検出されない場合、データ・センターには亜鉛ウィスカーがないと見なされます。	

管理オプション

このセクションで説明されている XClarity ポートフォリオおよびその他のシステム管理オプションは、サーバーをより効率的に管理するために使用できます。

概要

オプション	説明
Lenovo XClarity Controller	ベースボード管理コントローラー (BMC) サービス・プロセッサ機能、Super I/O、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能をサーバーのシステム・ボード (システム・ボード・アセンブリ) 上の単一のチップに一元化します。 インターフェース • CLI アプリケーション • Web GUI インターフェース • モバイル・アプリケーション • Redfish API 使用方法およびダウンロード https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/
Lenovo XCC Logger Utility	XCC イベントをローカル OS システム・ログに報告するアプリケーション。 インターフェース • CLI アプリケーション 使用方法およびダウンロード • https://pubs.lenovo.com/lxcc-logger-linux/ • https://pubs.lenovo.com/lxcc-logger-windows/

オプション	説明
Lenovo XClarity Administrator	マルチサーバー管理のための一元管理インターフェース。 インターフェース • Web GUI インターフェース • モバイル・アプリケーション • REST API 使用方法およびダウンロード https://pubs.lenovo.com/lxca/
Lenovo XClarity Essentials ツールセット	サーバー構成、データ収集、ファームウェア更新のための持ち運び可能で軽量なツール・セット。単一サーバーまたはマルチサーバーの管理コンテキストに適しています。 重要：UEFI と BMC 設定を読み取って設定するには、最新バージョンの OneCLI 5.x、BoMC 14.x、および UpdateXpress 5.x を使用します。 インターフェース • OneCLI: CLI アプリケーション • Bootable Media Creator: CLI アプリケーション、GUI アプリケーション • UpdateXpress: GUI アプリケーション 使用方法およびダウンロード https://pubs.lenovo.com/lxce-overview/
Lenovo XClarity Provisioning Manager	管理タスクを簡略化できる単一のサーバー上の UEFI ベースの組み込み GUI ツール。 インターフェース • Web インターフェース (BMC 遠隔アクセス) • GUI アプリケーション 使用方法およびダウンロード https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/ 重要： Lenovo XClarity Provisioning Manager (LXPM) でサポートされるバージョンは、製品によって異なります。本書では、特に指定がない限り、Lenovo XClarity Provisioning Manager のすべてのバージョンを Lenovo XClarity Provisioning Manager および LXPM と記載します。ご使用のサーバーでサポートされる LXPM バージョンを確認するには、https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/ にアクセスしてください。
Lenovo XClarity Integrator	VMware vCenter、Microsoft Admin Center、Microsoft System Center など、特定のデプロイメント・インフラストラクチャーで使用されるソフトウェアと Lenovo 物理サーバーの管理および監視機能を統合し、追加のワークロード回復力を提供する一連のアプリケーション。 インターフェース • GUI アプリケーション 使用方法およびダウンロード https://pubs.lenovo.com/lxci-overview/

オプション	説明
Lenovo XClarity Energy Manager	サーバーの電力および温度を管理およびモニターできるアプリケーション。 インターフェース Web GUI インターフェース 使用方法およびダウンロード https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/Invo-lxem
Lenovo Capacity Planner	サーバーまたはラックの電力消費量計画をサポートするアプリケーション。 インターフェース Web GUI インターフェース 使用方法およびダウンロード https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/Invo-lcp

機能

オプション	機能							
	マルチ・システム管理	OS 展開	システム構成	ファームウェア更新 ¹	イベント/アラートの監視	イベントリ/ログ	電源管理	電源計画
Lenovo XClarity Controller			√	√ ²	√	√ ⁴		
Lenovo XCC Logger Utility					√			
Lenovo XClarity Administrator	√	√	√	√ ²	√	√ ⁴		
Lenovo XClarity Essentials ツールセット	OneCLI	√	√	√ ²	√	√		
	Bootable Media Creator		√	√ ²		√ ⁴		
	UpdateXpress		√	√ ²				
Lenovo XClarity Provisioning Manager		√	√	√ ³		√ ⁵		
Lenovo XClarity Integrator	√		√	√	√	√	√ ⁶	
Lenovo XClarity Energy Manager	√				√		√	
Lenovo Capacity Planner								√ ⁷

注：

- ほとんどのオプションは、Lenovo Tools を使用して更新できます。GPU ファームウェアや Omni-Path ファームウェアなど一部のオプションでは、サプライヤー・ツールを使用する必要があります。
- オプション ROM のサーバー UEFI 設定を「自動」または「UEFI」に設定して、Lenovo XClarity Administrator、Lenovo XClarity Essentials または Lenovo XClarity Controller を使用してファームウェアを更新する必要があります。
- ファームウェア更新は、Lenovo XClarity Provisioning Manager、Lenovo XClarity Controller および UEFI の更新に限られます。アダプターなど、オプション・デバイスのファームウェア更新はサポートされません。

4. Lenovo XClarity Administrator、Lenovo XClarity Controller または Lenovo XClarity Essentials に表示されるモデル名やファームウェア・レベルなどのアダプター・カードの詳細情報について、オプション ROM のサーバー UEFI を「自動」または「UEFI」に設定する必要があります。
5. 制限されたインベントリー。
6. 電源管理機能は VMware vCenter 用 Lenovo XClarity Integrator でのみサポートされています。
7. 新しい部品を購入する前に、Lenovo Capacity Planner を使用してサーバーの電力要約データを確認することを強くお勧めします。

第 2 章 サーバー・コンポーネント

このセクションには、サーバーに互換性のあるコンポーネントに関する情報が含まれています。

前面図

このセクションでは、サーバー前面のコントロール、LED、およびコネクタに関する情報が記載されています。

2.5 インチ ベイを装備したサーバー・モデルの前面図

このセクションでは、2.5 インチ ドライブを搭載したサーバー・モデルの前面図を示します。

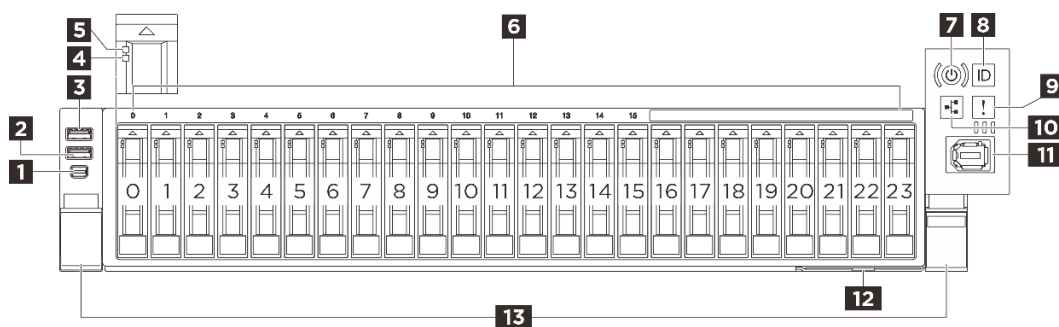


図 2. 2.5 インチ ベイを装備したサーバー・モデルの前面図

1 Mini DisplayPort コネクタ	2 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ
3 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ (USB 2.0 XClarity Controller 管理付き)	4 ドライブ状況 LED (黄色)
5 ドライブ活動 LED (緑色)	6 2.5 インチ ドライブ・ベイ
7 電源ボタン/LED (緑色)	8 システム ID ボタン/LED (青色)
9 システム・エラー LED (黄色)	10 ネットワーク活動 LED (緑色)
11 外部診断コネクタ	12 引き出し式情報タブ
13 ラック・リリース・ラッチ	

1 Mini DisplayPort コネクタ

モニターをこのコネクタに接続します。

2 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ

USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタを使用して、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージ・デバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けることができます。

3 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ (Lenovo XClarity Controller 管理対応)

USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタを使用して、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージ・デバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けることができます。

Lenovo XClarity Controller への接続は、主に Lenovo XClarity Controller モバイル・アプリを実行する、モバイルデバイスのユーザー向けに意図されています。モバイル・デバイスがこの USB ポートに接続されると、デバイスおよび Lenovo XClarity Controller 上で実行されているモバイル・アプリケーションとの間に USB を介したイーサネット接続が確立されます。

設定を表示または変更するには、「BMC 構成」の「ネットワーク」を選択します。

4 種類の設定を使用できます。

- **ホスト専用モード**

このモードでは、USB ポートは常にサーバーにのみ接続されます。

- **BMC 専用モード**

このモードでは、USB ポートは常に Lenovo XClarity Controller にのみ接続されます。

- **共用モード: BMC 所有**

このモードでは、USB ポートへの接続がサーバーと Lenovo XClarity Controller で共用されます。ポートは Lenovo XClarity Controller に切り替えられます。

- **共用モード: ホスト所有**

このモードでは、USB ポートへの接続がサーバーおよび Lenovo XClarity Controller で共用されます。ポートはサーバーに切り替えられます。

4 ドライブ状況 LED (黄色)

ドライブ状態 LED は、以下のことを示します。

- LED が点灯: ドライブに障害が発生しています。
- LED がゆっくり (1 秒に 1 回) 点滅: ドライブを再構築しています。
- LED が高速で (1 秒に 3 回) 点滅: ドライブを特定しています。

5 ドライブ活動 LED (緑色)

各ホット・スワップ・ドライブには活動 LED が付属しています。この LED が点滅している場合、ドライブが使用中であることを示します。

6 2.5 インチ ドライブ・ベイ

これらのベイに 2.5 インチ ドライブを取り付けます。「ThinkSystem SR850 V4 ユーザー・ガイド」または「ハードウェア・メンテナンス・ガイド」の「2.5 インチ・ホット・スワップ・ドライブの取り付け」を参照してください。

7 電源ボタン/LED (緑色)

このボタンを押すと、サーバーの電源を手動でオンまたはオフにできます。電源 LED の状態は次のとおりです。

ステータス	色	説明
オン	緑色	サーバーはオンで稼働しています。
遅い点滅 (1 秒間に約 1 回の点滅)	緑色	サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができています (スタンバイ状態)。
速い点滅 (1 秒間に約 4 回の点滅)	緑色	• サーバーの電源はオフの状態ですが、XClarity Controller が初期化中であり、サーバーは電源をオンにする準備ができていません。 • システム・ボード・アセンブリの電源に障害が起きました。
オフ	なし	電源が入っていないか、パワー・サプライに障害があります。

8 システム ID ボタン/LED (青色)

システム ID ボタンおよび青色のシステム ID LED は、サーバーを視覚的に見付けるのに使用します。システム ID ボタンを押すたびに、システム ID LED の状態が変更されます。LED は点灯、点滅、消灯にできません。また、Lenovo XClarity Controller またはリモート管理プログラムを使用してシステム ID LED の状態を変更し、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけることもできます。

9 システム・エラー LED (黄色)

システム・エラー LED は、システム・エラーがあるかどうかを判断する際に役立ちます。

ステータス	色	説明	操作
オン	オレンジ色	サーバーでエラーが検出されました。原因には、次のようなエラーが含まれますが、これに限定されるものではありません。 - サーバーの温度が、非クリティカルな温度しきい値に達しました。 - サーバーの電圧が、非クリティカルな電圧しきい値に達しました。 - ファンが低速で稼働していることが検出されました。 - ホット・スワップ・ファンが取り外されました。 - パワー・サプライにクリティカルなエラーがあります。 - パワー・サプライが電源に接続されていません。 - プロセッサー・エラー。 - システム I/O ボードまたはプロセッサー・ボードのエラー。 - Processor Neptune® Core Module (NeptCore) で異常ステータスが検出されました。	- エラーの正確な原因を判別するには、Lenovo XClarity Controller イベント・ログとシステム・イベント・ログを確認します。 - 他の LED も点灯していないかを確認します。これは、エラーの原因を示します。37 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」を参照してください。 - 必要に応じて、ログを保存します。 注：Processor Neptune® Core Module (NeptCore) が取り付けられたサーバー・モデルでは、トップ・カバーを開き、漏水検知センサー・モジュールの LED のステータスを確認する必要があります。詳しくは、40 ページの「漏水検知センサー・モジュール LED」を参照してください。
オフ	なし	サーバーがオフか、サーバーがオンで正しく動作しています。	なし。

10 ネットワーク活動 LED (緑色)

ネットワーク活動 LED は、ネットワークの接続性と活動の識別に役立ちます。

ステータス	色	説明
オン	緑色	サーバーがネットワークに接続されています。
点滅	緑色	ネットワークに接続されており、ネットワークはアクティブです。
オフ	なし	サーバーがネットワークから切断されています。 注：OCP モジュールが取り付けられている場合にネットワーク活動 LED がオフの場合は、サーバーの背面のネットワーク・ポートを確認して、切断されたポートを判別します。

11 外部診断コネクタ

外部診断ハンドセットをこのコネクタに接続します。詳しくは、「ThinkSystem SR850 V4 ユーザー・ガイド」または「ハードウェア・メンテナンス・ガイド」の「外部診断ハンドセット」を参照してください。

12 引き出し式情報タブ

このタブには、MAC アドレスおよび XCC ネットワーク・アクセス・ラベルなどのネットワーク情報が表示されます。

13 ラック・リリース・ラッチ

両側のラッチを押して、サーバーをラックから外し、スライドさせて引き出します。

E3.S 1T ベイを搭載したサーバー・モデルの前面図

このセクションでは、E3.S 1T ベイを搭載したサーバー・モデルの前面図について説明します。

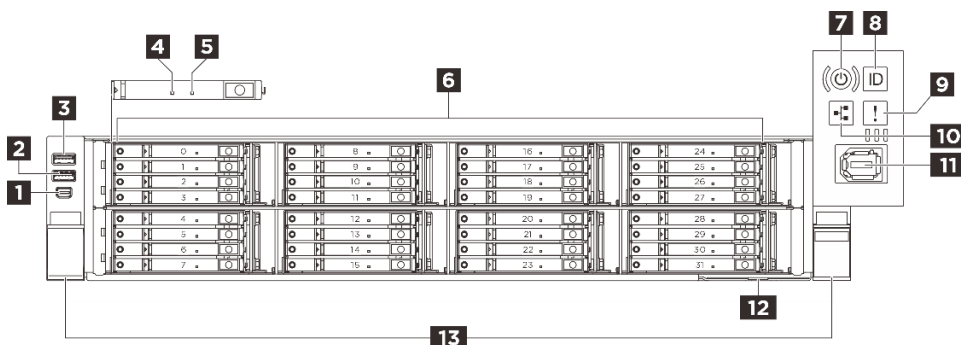


図 3. E3.S 1T ベイを搭載したサーバー・モデルの前面図

1 Mini DisplayPort コネクター	2 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター
3 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター (USB 2.0 XClarity Controller 管理付き)	4 ドライブ状況 LED (黄色)
5 ドライブ活動 LED (緑色)	6 E3.S 1T ベイ
7 電源ボタン/LED (緑色)	8 システム ID ボタン/LED (青色)
9 システム・エラー LED (黄色)	10 ネットワーク活動 LED (緑色)
11 外部診断コネクター	12 引き出し式情報タブ
13 ラック・リリース・ラッチ	

1 Mini DisplayPort コネクター

モニターをこのコネクターに接続します。

2 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター

USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクターを使用して、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージ・デバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けることができます。

3 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター (Lenovo XClarity Controller 管理対応)

USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクターを使用して、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージ・デバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けることができます。

Lenovo XClarity Controller への接続は、主に Lenovo XClarity Controller モバイル・アプリを実行する、モバイルデバイスのユーザー向けに意図されています。モバイル・デバイスがこの USB ポートに接続されると、デバイスおよび Lenovo XClarity Controller 上で実行されているモバイル・アプリケーションとの間に USB を介したイーサネット接続が確立されます。

設定を表示または変更するには、「BMC 構成」の「ネットワーク」を選択します。

4 種類の設定を使用できます。

- **ホスト専用モード**

このモードでは、USB ポートは常にサーバーにのみ接続されます。

- **BMC 専用モード**

このモードでは、USB ポートは常に Lenovo XClarity Controller にのみ接続されます。

- **共用モード: BMC 所有**

このモードでは、USB ポートへの接続がサーバーと Lenovo XClarity Controller で共用されます。ポートは Lenovo XClarity Controller に切り替えられます。

- **共用モード: ホスト所有**

このモードでは、USB ポートへの接続がサーバーおよび Lenovo XClarity Controller で共用されます。ポートはサーバーに切り替えられます。

4 ドライブ状況 LED (黄色)

ドライブ状態 LED は、以下のことを示します。

- LED が点灯: ドライブに障害が発生しています。
- LED がゆっくり (1 秒に 1 回) 点滅: ドライブを再構築しています。
- LED が高速で (1 秒に 3 回) 点滅: ドライブを特定しています。

5 ドライブ活動 LED (緑色)

各ホット・スワップ・ドライブには活動 LED が付属しています。この LED が点滅している場合、ドライブが使用中であることを示します。

6 E3.S 1T ベイ

これらのベイに E3.S 1T ドライブを取り付けます。「*ThinkSystem SR850 V4 ユーザー・ガイド*」または「*ハードウェア・メンテナンス・ガイド*」の「E3.S ホット・スワップ・ドライブの取り付け」を参照してください。

7 電源ボタン/LED (緑色)

このボタンを押すと、サーバーの電源を手動でオンまたはオフにできます。電源 LED の状態は次のとおりです。

ステータス	色	説明
オン	緑色	サーバーはオンで稼働しています。
遅い点滅 (1 秒間に約 1 回の点滅)	緑色	サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができています (スタンバイ状態)。
速い点滅 (1 秒間に約 4 回の点滅)	緑色	● サーバーの電源はオフの状態ですが、XClarity Controller が初期化中であり、サーバーは電源をオンにする準備ができていません。 ● システム・ボード・アセンブリーの電源に障害が起きました。
オフ	なし	電源が入っていないか、パワー・サプライに障害があります。

8 システム ID ボタン/LED (青色)

システム ID ボタンおよび青色のシステム ID LED は、サーバーを視覚的に見付けるのに使用します。システム ID ボタンを押すたびに、システム ID LED の状態が変更されます。LED は点灯、点滅、消灯にできます。また、Lenovo XClarity Controller またはリモート管理プログラムを使用してシステム ID LED の状態を変更し、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけることもできます。

9 システム・エラー LED (黄色)

システム・エラー LED は、システム・エラーがあるかどうかを判断する際に役立ちます。

ステータス	色	説明	操作
オン	オレンジ色	サーバーでエラーが検出されました。原因には、次のようなエラーが含まれますが、これに限定されるものではありません。 - サーバーの温度が、非クリティカルな温度しきい値に達しました。 - サーバーの電圧が、非クリティカルな電圧しきい値に達しました。 - ファンが低速で稼働していることが検出されました。 - ホット・スワップ・ファンが取り外されました。 - パワー・サブライにクリティカルなエラーがあります。 - パワー・サブライが電源に接続されていません。 - プロセッサ・エラー。 - システム I/O ボードまたはプロセッサ・ボードのエラー。 - Processor Neptune® Core Module (NeptCore) で異常ステータスが検出されました。	- エラーの正確な原因を判別するには、Lenovo XClarity Controller イベント・ログとシステム・イベント・ログを確認します。 - 他の LED も点灯していないかを確認します。これは、エラーの原因を示します。37 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」を参照してください。 - 必要に応じて、ログを保存します。 注：Processor Neptune® Core Module (NeptCore) が取り付けられたサーバー・モデルでは、トップ・カバーを開き、漏水検知センサー・モジュールの LED のステータスを確認する必要があります。詳しくは、40 ページの「漏水検知センサー・モジュール LED」を参照してください。
オフ	なし	サーバーがオフか、サーバーがオンで正しく動作しています。	なし。

10 ネットワーク活動 LED (緑色)

ネットワーク活動 LED は、ネットワークの接続性と活動の識別に役立ちます。

ステータス	色	説明
オン	緑色	サーバーがネットワークに接続されています。
点滅	緑色	ネットワークに接続されており、ネットワークはアクティブです。
オフ	なし	サーバーがネットワークから切断されています。 注：OCP モジュールが取り付けられている場合にネットワーク活動 LED がオフの場合は、サーバーの背面のネットワーク・ポートを確認して、切断されたポートを判別します。

11 外部診断コネクタ

外部診断ハンドセットをこのコネクタに接続します。詳しくは、「*ThinkSystem SR850 V4 ユーザー・ガイド*」または「*ハードウェア・メンテナンス・ガイド*」の「外部診断ハンドセット」を参照してください。

12 引き出し式情報タブ

このタブには、MAC アドレスおよび XCC ネットワーク・アクセス・ラベルなどのネットワーク情報が表示されます。

13 ラック・リリース・ラッチ

両側のラッチを押して、サーバーをラックから外し、スライドさせて引き出します。

E3.S 2T ベイを搭載したサーバー・モデルの前面図

このセクションでは、E3.S 2T ベイを搭載したサーバー・モデルの前面図を示します。

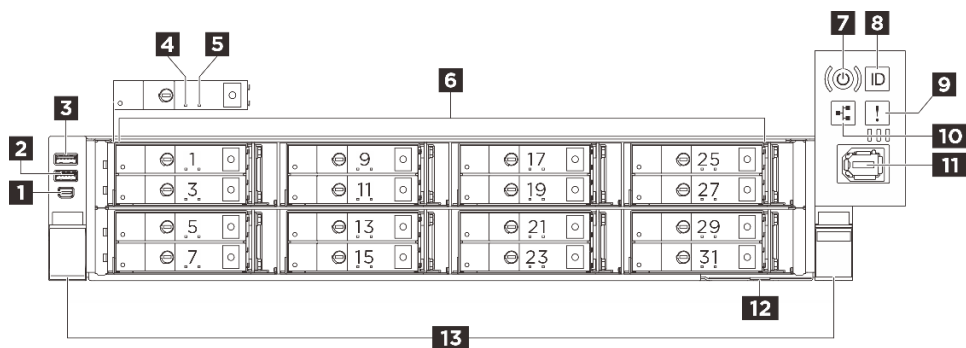


図4. E3.S 2T ベイを搭載したサーバー・モデルの前面図

1 Mini DisplayPort コネクタ	2 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ
3 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ (USB 2.0 XClarity Controller 管理付き)	4 CMM 障害 LED (オレンジ色)
5 CMM 正常性 LED (白色)	6 E3.S 2T ベイ
7 電源ボタン/LED (緑色)	8 システム ID ボタン/LED (青色)
9 システム・エラー LED (黄色)	10 ネットワーク活動 LED (緑色)
11 外部診断コネクタ	12 引き出し式情報タブ
13 ラック・リリース・ラッチ	

1 Mini DisplayPort コネクタ

モニターをこのコネクタに接続します。

2 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ

USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタを使用して、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージ・デバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けることができます。

3 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ (Lenovo XClarity Controller 管理対応)

USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタを使用して、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージ・デバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けることができます。

Lenovo XClarity Controller への接続は、主に Lenovo XClarity Controller モバイル・アプリを実行する、モバイルデバイスのユーザー向けに意図されています。モバイル・デバイスがこの USB ポートに接続されると、デバイスおよび Lenovo XClarity Controller 上で実行されているモバイル・アプリケーションとの間に USB を介したイーサネット接続が確立されます。

設定を表示または変更するには、「BMC 構成」の「ネットワーク」を選択します。

4 種類の設定を使用できます。

- ホスト専用モード

このモードでは、USB ポートは常にサーバーにのみ接続されます。

- BMC 専用モード

このモードでは、USB ポートは常に Lenovo XClarity Controller にのみ接続されます。

- 共用モード: BMC 所有

このモードでは、USB ポートへの接続がサーバーと Lenovo XClarity Controller で共用されます。ポートは Lenovo XClarity Controller に切り替えられます。

● **共用モード: ホスト所有**

このモードでは、USB ポートへの接続がサーバーおよび Lenovo XClarity Controller で共用されます。ポートはサーバーに切り替えられます。

4 CMM 障害 LED (オレンジ色)

LED	ステータス	説明
1 障害 LED (オレンジ色)	オフ	CMM は正常です。
	オン	CMM に障害があります。

5 CMM 正常性 LED (白色)

LED	ステータス	説明
2 正常性 LED (白色)	オン	CMM の電源はオンになっていますが、アクティブではありません。取り外しは許可されていません。
	点滅	CMM はアクティブです。取り外しは許可されていません。
	オフ	CMM の電源がオンになっていません。取り外しは許可されています。

6 E3.S 2T ベイ

ホット・スワップ非対応の E3.S CMM をこれらのベイに取り付けます。「*ThinkSystem SR850 V4 ユーザー・ガイド*」または「*ハードウェア・メンテナンス・ガイド*」の「ホット・スワップ非対応の E3.S CMM の取り付け」を参照してください。

7 電源ボタン/LED (緑色)

このボタンを押すと、サーバーの電源を手動でオンまたはオフにできます。電源 LED の状態は次のとおりです。

ステータス	色	説明
オン	緑色	サーバーはオンで稼働しています。
遅い点滅 (1 秒間に約 1 回の点滅)	緑色	サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができています (スタンバイ状態)。
速い点滅 (1 秒間に約 4 回の点滅)	緑色	- サーバーの電源はオフの状態ですが、XClarity Controller が初期化中であり、サーバーは電源をオンにする準備ができていません。 - システム・ボード・アセンブリーの電源に障害が起きました。
オフ	なし	電源が入っていないか、パワー・サプライに障害があります。

8 システム ID ボタン/LED (青色)

システム ID ボタンおよび青色のシステム ID LED は、サーバーを視覚的に見付けるのに使用します。システム ID ボタンを押すたびに、システム ID LED の状態が変更されます。LED は点灯、点滅、消灯にできます。また、Lenovo XClarity Controller またはリモート管理プログラムを使用してシステム ID LED の状態を変更し、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけることもできます。

9 システム・エラー LED (黄色)

システム・エラー LED は、システム・エラーがあるかどうかを判断する際に役立ちます。

ステータス	色	説明	操作
オン	オレンジ色	サーバーでエラーが検出されました。原因には、次のようなエラーが含まれますが、これに限定されるものではありません。 - サーバーの温度が、非クリティカルな温度しきい値に達しました。 - サーバーの電圧が、非クリティカルな電圧しきい値に達しました。 - ファンが低速で稼働していることが検出されました。 - ホット・スワップ・ファンが取り外されました。 - パワー・サプライにクリティカルなエラーがあります。 - パワー・サプライが電源に接続されていません。 - プロセッサ・エラー。 - システム I/O ボードまたはプロセッサ・ボードのエラー。 - Processor Neptune® Core Module (NeptCore) で異常ステータスが検出されました。	- エラーの正確な原因を判別するには、Lenovo XClarity Controller イベント・ログとシステム・イベント・ログを確認します。 - 他の LED も点灯していないかを確認します。これは、エラーの原因を示します。37 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」を参照してください。 - 必要に応じて、ログを保存します。 注：Processor Neptune® Core Module (NeptCore) が取り付けられたサーバー・モデルでは、トップ・カバーを開き、漏水検知センサー・モジュールの LED のステータスを確認する必要があります。詳しくは、40 ページの「漏水検知センサー・モジュール LED」を参照してください。
オフ	なし	サーバーがオフか、サーバーがオンで正しく動作しています。	なし。

10 ネットワーク活動 LED (緑色)

ネットワーク活動 LED は、ネットワークの接続性と活動の識別に役立ちます。

ステータス	色	説明
オン	緑色	サーバーがネットワークに接続されています。
点滅	緑色	ネットワークに接続されており、ネットワークはアクティブです。
オフ	なし	サーバーがネットワークから切断されています。 注：OCP モジュールが取り付けられている場合にネットワーク活動 LED がオフの場合は、サーバーの背面のネットワーク・ポートを確認して、切断されたポートを判別します。

11 外部診断コネクタ

外部診断ハンドセットをこのコネクタに接続します。詳しくは、「*ThinkSystem SR850 V4 ユーザー・ガイド*」または「*ハードウェア・メンテナンス・ガイド*」の「外部診断ハンドセット」を参照してください。

12 引き出し式情報タブ

このタブには、MAC アドレスおよび XCC ネットワーク・アクセス・ラベルなどのネットワーク情報が表示されます。

13 ラック・リリース・ラッチ

両側のラッチを押して、サーバーをラックから外し、スライドさせて引き出します。

背面図

サーバーの背面から、パワー・サプライ、PCIe ライザー、イーサネット・ポートなど複数のコンポーネントにアクセスできます。

ThinkSystem SR850 V4 の背面図はモデルによって異なります。各モデルに固有の背面図を参照して、コンポーネントを特定します。

- 26 ページの「3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図」
- 28 ページの「4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図」

3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図

このセクションでは、3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図について説明します。

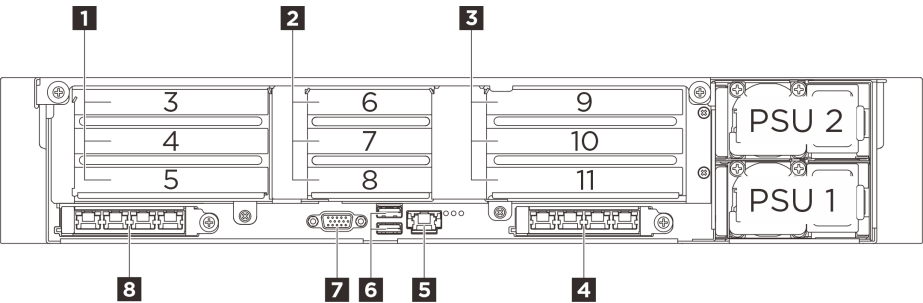


図 5. 3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図

表 3. 3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図のコンポーネント

1 PCIe ライザー 1 (PCIe スロット 3 ~ 5)	2 PCIe ライザー 2 (PCIe スロット 6 ~ 8)
3 PCIe ライザー 3 (PCIe スロット 9 ~ 11)	4 OCP スロット 2 (PCIe スロット 2)
5 XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) (1 GB RJ-45)	6 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ
7 VGA コネクタ	8 OCP スロット 1 (PCIe スロット 1)

1 PCIe ライザー 1 (PCIe スロット 3 ~ 5)

これらのスロットに PCIe アダプターを取り付けます。PCIe ライザーに対応する PCIe スロットについては、次の表を参照してください。

PCIe スロット	3 スロット・ライザー (電源コネクタ付き)	2 スロット・ライザー		
		該当なし	該当なし	背面 M.2 ドライブ・ベイ
3	x16 (Gen5 x8)	該当なし	該当なし	
4	x16 (Gen5 x16) *	x16 (Gen5 x16) *	x16 (Gen5 x8)	
5	x16 (Gen4 x16)	x16 (Gen5 x16)	x16 (Gen5 x8)	x16 (Gen5 x16)

注：* スロット 4 は、スロット 3 および 4 に取り付けられたダブル・ワイドの FHFL GPU をサポートします。

2 PCIe ライザー 2 (PCIe スロット 6 ~ 8)

これらのスロットに PCIe アダプターを取り付けます。PCIe ライザーに対応する PCIe スロットについては、次の表を参照してください。

PCIe スロット	3 スロット・ライザー (電源コネクタなし)	
6	x16 (Gen5 x16)	x16 (Gen5 x16)
7	x16 (Gen5 x8)	x16 (Gen5 x8)
8	x16 (Gen5 x8)	シリアル・ポート・ベイ

3 PCIe ライザー 3 (PCIe スロット 9 ~ 11)

これらのスロットに PCIe アダプターを取り付けます。PCIe ライザーに対応する PCIe スロットについては、次の表を参照してください。

PCIe スロット	3 スロット・ライザー (電源コネクタ付き)	2 スロット・ライザー	
9	x16 (Gen5 x8)	該当なし	該当なし
10	x16 (Gen5 x16) *	x16 (Gen5 x16) *	x16 (Gen5 x8)
11	x16 (Gen4 x16)	x16 (Gen5 x16)	x16 (Gen5 x8)

注：* スロット 10 は、スロット 9 および 10 に取り付けられたダブル・ワイドの FHFL GPU をサポートします。

4 OCP スロット 2 / 8 OCP スロット 1

システムは、ネットワーク接続用に 2 ポートまたは 4 ポート OCP モジュールをサポートすることができます。ポート番号は以下の図に示されています。

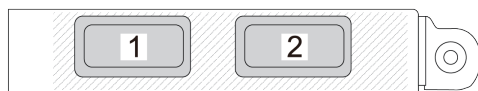


図6. ポート番号 — 2 ポート OCP モジュール

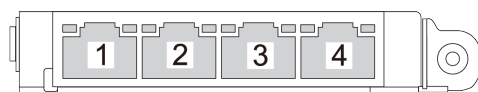


図7. ポート番号 — 4 ポート OCP 3.0 モジュール

5 XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) (1 GB RJ-45)

サーバーには、Lenovo XClarity Controller (XCC) 機能専用の 1 GB RJ-45 コネクタがあります。システム管理ポートを介して、イーサネット・ケーブルを使用してラップトップを管理ポートに接続し、Lenovo XClarity Controllerに直接アクセスできます。サーバーのデフォルト設定と同じネットワークになるように、ラップトップの IP 設定を変更してください。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。

詳しくは、以下を参照してください。

- [67 ページの「Lenovo XClarity Controller のネットワーク接続の設定」](#)

- 49 ページの「XCC システム管理ポート LED」

6 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター

- **上部コネクター:** このコネクターは、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージデバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けるために使用できます。
- **下部コネクター:** このコネクターは、ホスト OS への通常の USB 3.2 Gen 1 コネクターとして機能し、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージデバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けるために使用できます。

前面に USB コネクターがない場合、このコネクターを USB 2.0 Lenovo XClarity Controller 管理ポートとして使用できます。

7 VGA コネクター

モニターをこのコネクターに接続します。

4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図

このセクションでは、4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図について説明します。

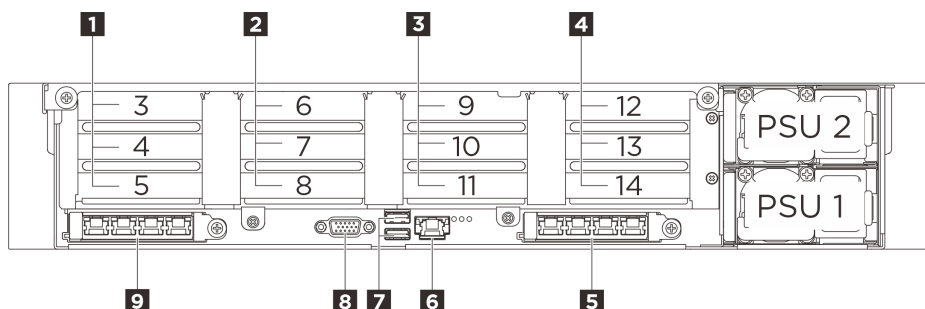


図 8. 4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図

表 4. 4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの背面図のコンポーネント

1 PCIe ライザー A (PCIe スロット 3 ~ 5)	2 PCIe ライザー B (PCIe スロット 6 ~ 8)
3 PCIe ライザー C (PCIe スロット 9 ~ 11)	4 PCIe ライザー D (PCIe スロット 12 ~ 14)
5 OCP スロット 2 (PCIe スロット 2)	6 XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) (1 GB RJ-45)
7 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター	8 VGA コネクター
9 OCP スロット 1 (PCIe スロット 1)	

1 PCIe ライザー A (PCIe スロット 3 ~ 5)

これらのスロットに PCIe アダプターを取り付けます。PCIe ライザーに対応する PCIe スロットについては、次の表を参照してください。

PCIe スロット	3 スロット・ライザー (電源コネクターなし)
3	x16 (Gen5 x16)
4	x16 (Gen5 x8)
5	x16 (Gen5 x8)

2 PCIe ライザー B (PCIe スロット 6 ~ 8)

これらのスロットに PCIe アダプターを取り付けます。PCIe ライザーに対応する PCIe スロットについては、次の表を参照してください。

PCIe スロット	3 スロット・ライザー (電源コネクタなし)	
6	x16 (Gen5 x16)	x16 (Gen5 x16)
7	x16 (Gen5 x8)	x16 (Gen5 x8)
8	x16 (Gen5 x8)	シリアル・ポート・ベイ

3 PCIe ライザー C (PCIe スロット 9 ~ 11)

これらのスロットに PCIe アダプターを取り付けます。PCIe ライザーに対応する PCIe スロットについては、次の表を参照してください。

PCIe スロット	3 スロット・ライザー (電源コネクタなし)
9	x16 (Gen5 x16)
10	x16 (Gen5 x8)
11	x16 (Gen5 x8)

4 PCIe ライザー D (PCIe スロット 12 ~ 14)

これらのスロットに PCIe アダプターを取り付けます。PCIe ライザーに対応する PCIe スロットについては、次の表を参照してください。

PCIe スロット	3 スロット・ライザー (電源コネクタ付き)
12	x16 (Gen5 x8)
13	x16 (Gen5 x16)
14	x16 (Gen4 x16)

5 OCP スロット 2/ 9 OCP スロット 1

システムは、ネットワーク接続用に 2 ポートまたは 4 ポート OCP モジュールをサポートすることができます。ポート番号は以下の図に示されています。



図9. ポート番号 — 2 ポート OCP モジュール

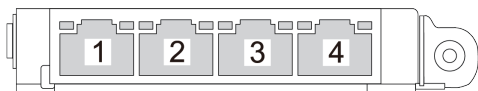


図 10. ポート番号 — 4 ポート OCP 3.0 モジュール

6 XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) (1 GB RJ-45)

サーバーには、Lenovo XClarity Controller (XCC) 機能専用の 1 GB RJ-45 コネクタがあります。システム管理ポートを介して、イーサネット・ケーブルを使用してラップトップを管理ポートに接続し、Lenovo XClarity Controllerに直接アクセスできます。サーバーのデフォルト設定と同じネットワークになるように、ラップトップの IP 設定を変更してください。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。

詳しくは、以下を参照してください。

- [67 ページの「Lenovo XClarity Controller のネットワーク接続の設定」](#)
- [49 ページの「XCC システム管理ポート LED」](#)

7 USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクタ

- **上部コネクタ:** このコネクタは、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージデバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けるために使用できます。
- **下部コネクタ:** このコネクタは、ホスト OS への通常の USB 3.2 Gen 1 コネクタとして機能し、USB キーボード、USB マウス、USB ストレージデバイスなどの USB 対応デバイスを取り付けるために使用できます。

前面に USB コネクタがない場合、このコネクタを USB 2.0 Lenovo XClarity Controller 管理ポートとして使用できます。

8 VGA コネクタ

モニターをこのコネクタに接続します。

上面図

このセクションでは、サーバーの上面図について説明します。

ThinkSystem SR850 V4 の上面図はモデルによって異なります。各モデルに固有の上面図を参照して、コンポーネントを特定します。

- [30 ページの「3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図」](#)
- [32 ページの「4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図」](#)

3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図

このセクションでは、3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図について説明します。

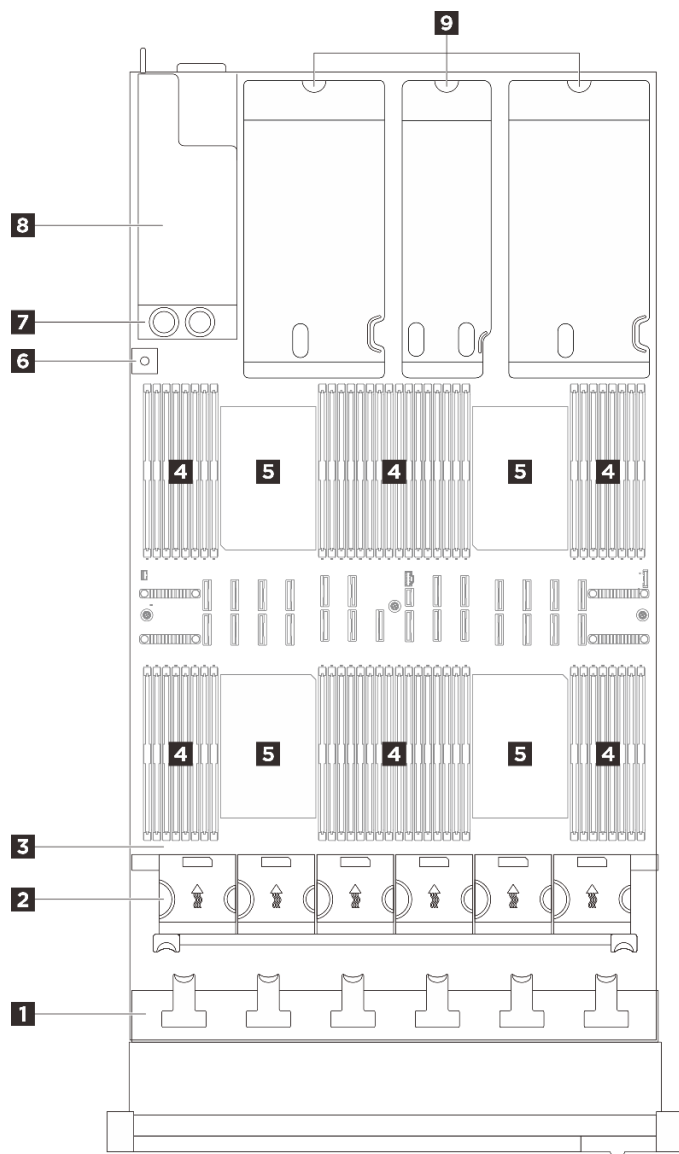


図 11. 3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図

表 5. 3 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図のコンポーネント

1 ドライブ・バックプレーン	2 ファン・ケージとファン
3 システム・ボード・アセンブリー	4 メモリー・モジュール
5 プロセッサー	6 侵入検出スイッチ
7 分電盤	8 パワー・サプライ・ベイ
9 PCIe ライザー	

注：この図は、特定の部品の位置を示しています。特定の構成では、一部の部品を同時にサポートできない場合があります。

4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図

このセクションでは、4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図について説明します。

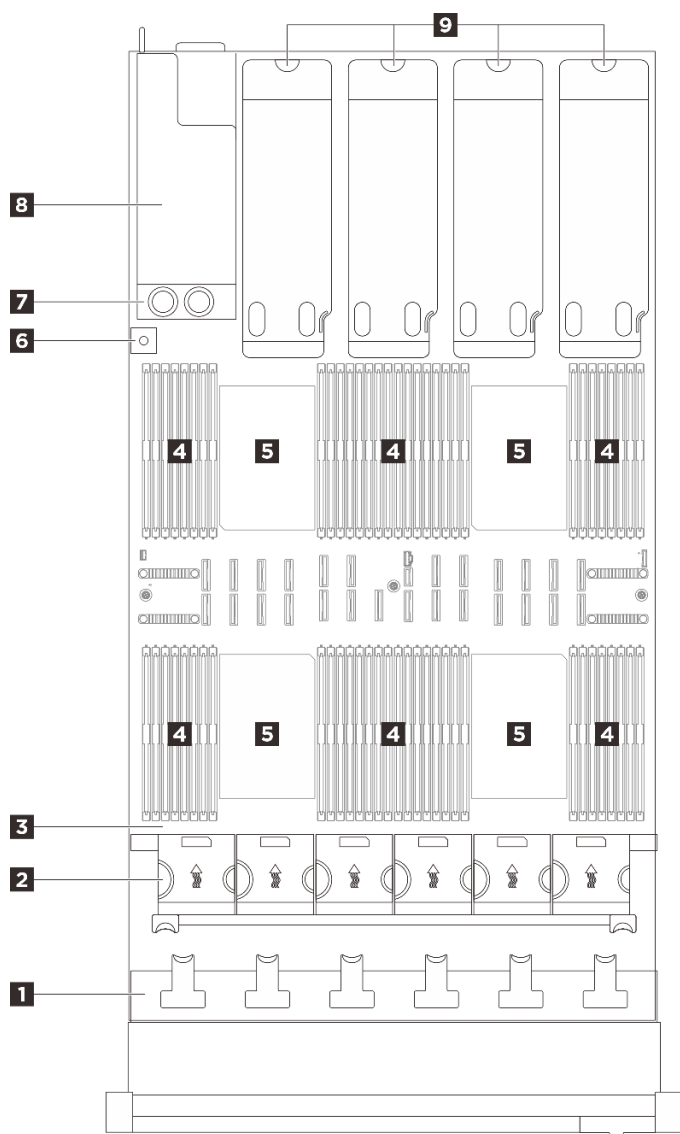


図 12. 4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図

表 6. 4 個の PCIe ライザーを搭載したサーバー・モデルの上面図のコンポーネント

1 ドライブ・バックプレーン	2 ファン・ケージとファン
3 システム・ボード・アセンブリ	4 メモリー・モジュール
5 プロセッサー	6 侵入検出スイッチ
7 分電盤	8 パワー・サプライ・ベイ
9 PCIe ライザー	

注：この図は、特定の部品の位置を示しています。特定の構成では、一部の部品を同時にサポートできない場合があります。

システム・ボード・アセンブリーのレイアウト

このセクションの図は、システム・ボード・アセンブリーにあるコネクタ、スイッチ、ジャンパーに関する情報を示しています。

次の図は、システム I/O ボード (DC-SCM) とプロセッサ・ボードが搭載されたシステム・ボード・アセンブリーのレイアウトを示しています。

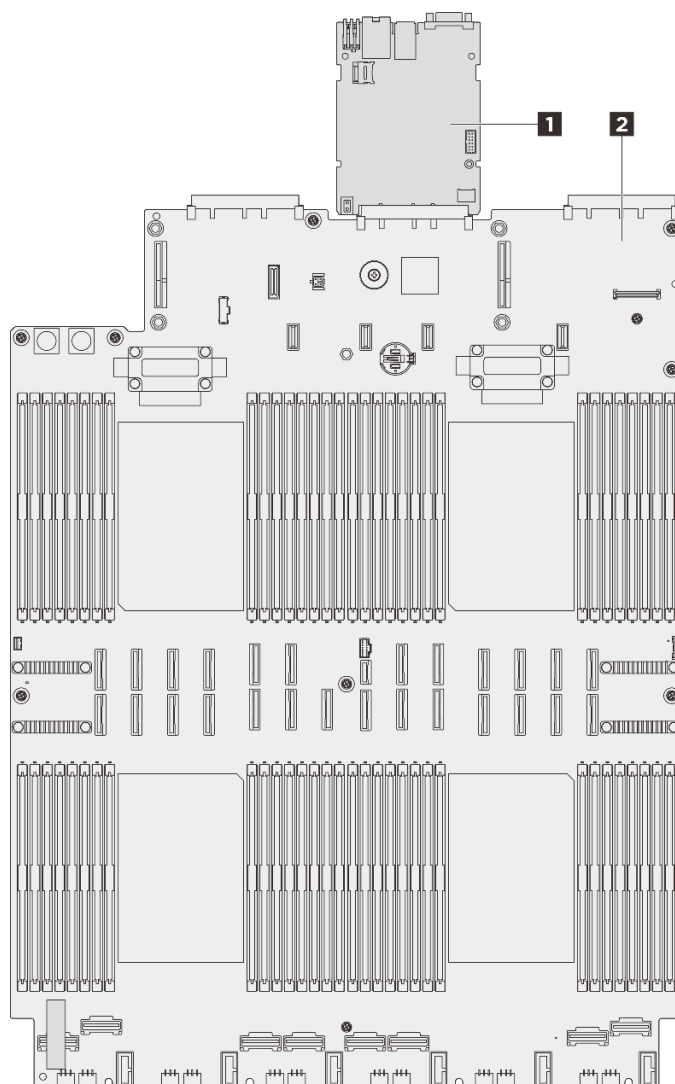


図 13. システム・ボード・アセンブリーのレイアウト

1 システム I/O ボード (DC-SCM)	2 プロセッサ・ボード
--------------------------------	--------------------

システム・ボード・アセンブリー・コネクタ

以下の図は、システム・ボード・アセンブリー上の内部コネクタを示しています。

表 7. システム・ボード・アセンブリー・コネクタ

1 ファン 6 コネクタ	2 バックプレーン 12 電源コネクタ
3 バックプレーン 11 電源コネクタ	4 ファン 5 コネクタ
5 バックプレーン 10 電源コネクタ	6 バックプレーン 9 電源コネクタ
7 ファン 4 コネクタ	8 バックプレーン 8 電源コネクタ
9 バックプレーン 7 電源コネクタ	10 ファン 3 コネクタ
11 バックプレーン 6 電源コネクタ	12 バックプレーン 5 電源コネクタ
13 ファン 2 コネクタ	14 バックプレーン 4 電源コネクタ
15 バックプレーン 3 電源コネクタ	16 ファン 1 コネクタ
17 バックプレーン 2 電源コネクタ	18 バックプレーン 1 電源コネクタ
19 侵入検出スイッチ・コネクタ	20 PDB 電源コネクタ
21 ライザー 3 電源コネクタ	22 OCP スロット 2 コネクタ
23 PDB 側波帯コネクタ	24 ライザー C 電源コネクタ (予約済み)
25 漏水センサー・コネクタ	26 ライザー 2 電源コネクタ
27 3V バッテリー (CR2032)	28 FPGA
29 システム I/O ボード・コネクタ	30 ライザー B 電源コネクタ (予約済み)
31 ライザー 1 電源コネクタ	32 ライザー A 電源コネクタ (予約済み)
33 前面パネル USB コネクタ	34 OCP スロット 1 コネクタ
35 前面 I/O コネクタ	36 リフト・ハンドル
37 MicroSD ソケット	38 シリアル・ポート・コネクタ
39 TCM コネクタ	

システム・ボード・アセンブリーのスイッチ

次の図は、サーバー上のスイッチ、ジャンパー、およびボタンの位置を示しています。

重要：

1. スwitchの設定を変更する、あるいはジャンパーを移動する前には、サーバーの電源をオフにしてください。次に、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してください。以下の情報を確認します。
 - https://pubs.lenovo.com/safety_documentation/
 - 「ユーザー・ガイド」または「ハードウェア・メンテナンス・ガイド」の「取り付けのガイドライン」、「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」、および「サーバーの電源をオフにする」。
2. このドキュメントの図に記載されていないシステム・ボード・アセンブリーのスイッチまたはジャンパー・ブロックは予備です。

注：スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

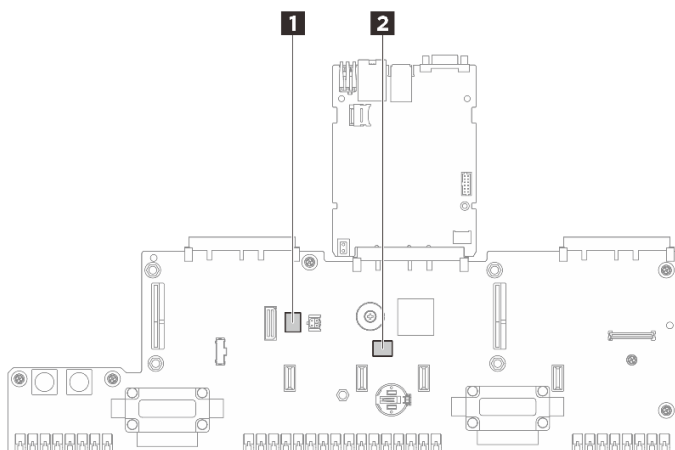


図 15. システム・ボード・アセンブリーのスイッチ

1 SW3	2 SW621
--------------	----------------

SW3 スイッチ・ブロック

以下の表は、システム・ボード・アセンブリー上にある SW3 スイッチ・ブロックについて説明しています。

表 8. システム・ボード・アセンブリーの SW3 スイッチ・ブロックの説明

スイッチ番号	デフォルト位置	説明
1	オフ	予約済み
2	オフ	予約済み
3	オフ	予約済み
4	オフ	オンにすると、リアル・タイム・クロック (RTC) レジストリーがクリアされます。

SW621 スイッチ・ブロック

以下の表は、システム・ボード・アセンブリー上にある SW621 スイッチ・ブロックの機能について説明しています。

表 9. システム・ボード・アセンブリーの SW621 スイッチ・ブロックの説明

スイッチ番号	デフォルト位置	説明
1	オフ	予約済み
2	オフ	予約済み
3	オフ	予約済み
4	オフ	オンにすると、始動パスワードがバイパスされます。

システム LED と診断ディスプレイ

使用可能なシステム LED と診断ディスプレイについては、以下のセクションを参照してください。

詳しくは、[37 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」](#)を参照してください。

システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング

使用可能なシステム LED と診断ディスプレイについては、以下のセクションを参照してください。

ドライブ LED

このトピックでは、ドライブ LED について説明します。

2.5 インチ ドライブ LED

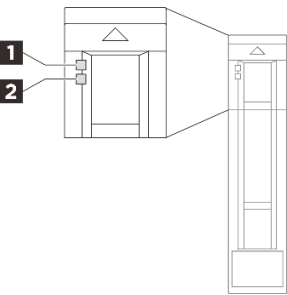


図 16. 2.5 インチ ドライブ LED

表 10. 2.5 インチ ドライブ LED

LED	説明
1 ドライブ活動 LED (緑色)	各ホット・スワップ・ドライブには活動 LED が付属しています。この LED が点滅している場合、ドライブが使用中であることを示します。
2 ドライブ状況 LED (黄色)	ドライブ状態 LED は、以下のことを示します。 - LED が点灯: ドライブに障害が発生しています。 - LED がゆっくり (1 秒に 1 回) 点滅: ドライブを再構築しています。 - LED が高速で (1 秒に 3 回) 点滅: ドライブを特定しています。

E3.S 1T ドライブ LED

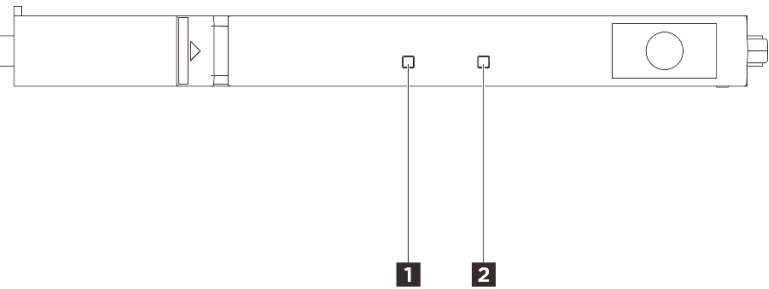


図 17. E3.S 1T ドライブ LED

表 11. E3.S 1T ドライブ LED

LED	説明
1 ドライブ状況 LED (黄色)	ドライブ状態 LED は、以下のことを示します。 - LED が点灯: ドライブに障害が発生しています。 - LED がゆっくり (1 秒に 1 回) 点滅: ドライブを再構築しています。 - LED が高速で (1 秒に 3 回) 点滅: ドライブを特定しています。
2 ドライブ活動 LED (緑色)	各ホット・スワップ・ドライブには活動 LED が付属しています。この LED が点滅している場合、ドライブが使用中であることを示します。

E3.S CMM LED

このトピックでは、E3.S コンピュート・エクスプレス・リンク (CXL) メモリー (CMM) の LED について説明します。

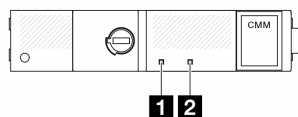


図 18. E3.S CMM LED

LED	ステータス	説明
1 障害 LED (オレンジ色)	オフ	CMM は正常です。
	オン	CMM に障害があります。
2 正常性 LED (白色)	オン	CMM の電源はオンになっていますが、アクティブではありません。取り外しは許可されていません。
	点滅	CMM はアクティブです。取り外しは許可されていません。
	オフ	CMM の電源がオンになっていません。取り外しは許可されています。

前面オペレーター・パネルの LED とボタン

サーバーの前面オペレーター・パネルには、コントロール、コネクター、および LED があります。

注：一部のモデルには、LCD ディスプレイが搭載された診断パネルがあります。詳しくは、[49 ページの「外部診断ハンドセット」](#)を参照してください。

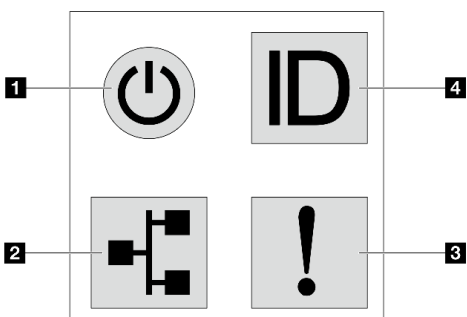


図 19. 診断パネル

1 電源状況 LED を備えた電源ボタン

サーバーのセットアップが終了したら、電源ボタンを押してサーバーの電源をオンにします。オペレーティング・システムからサーバーをシャットダウンできない場合は、電源ボタンを数秒間押したままにしてサーバーの電源をオフにすることもできます。電源状況 LED は、現在の電源状況を確認する際に役立ちます。

ステータス	色	説明
オン	緑色	サーバーはオンで稼働しています。
遅い点滅 (1 秒間に約 1 回の点滅)	緑色	サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができています (スタンバイ状態)。
速い点滅 (1 秒間に約 4 回の点滅)	緑色	- サーバーの電源はオフの状態ですが、XClarity Controller が初期化中であり、サーバーは電源をオンにする準備ができていません。 - システム・ボード・アセンブリの電源に障害が起きました。
オフ	なし	サーバーに AC 電源が供給されていません。

2 ネットワーク活動 LED

NIC アダプターとネットワーク活動 LED の互換性

NIC アダプター	ネットワーク活動 LED
OCP モジュール	サポート
PCIe NIC アダプター	サポートなし

OCP モジュールが取り付けられている場合、前面 I/O 部品のネットワーク活動 LED は、ネットワーク接続性と活動の識別に役立ちます。OCP モジュールが取り付けられていない場合、この LED は消灯します。

ステータス	色	説明
オン	緑色	サーバーがネットワークに接続されています。
点滅	緑色	ネットワークに接続されており、ネットワークはアクティブです。
オフ	なし	サーバーがネットワークから切断されています。 注：OCP モジュールが取り付けられている場合にネットワーク活動 LED がオフの場合は、サーバーの背面のネットワーク・ポートを確認して、切断されたポートを判別します。

3 システム・エラー LED

システム・エラー LED は、システム・エラーがあるかどうかを判断する際に役立ちます。

ステータス	色	説明	操作
オン	オレンジ色	サーバーでエラーが検出されました。原因には、次のようなエラーが含まれますが、これに限定されるものではありません。 - サーバーの温度が、非クリティカルな温度しきい値に達しました。 - サーバーの電圧が、非クリティカルな電圧しきい値に達しました。 - ファンが低速で稼働していることが検出されました。 - ホット・スワップ・ファンが取り外されました。 - パワー・サプライにクリティカルなエラーがあります。 - パワー・サプライが電源に接続されていません。 - プロセッサ・エラー。 - システム I/O ボードまたはプロセッサ・ボードのエラー。 - Processor Neptune® Core Module (NeptCore) で異常ステータスが検出されました。	- エラーの正確な原因を判別するには、Lenovo XClarity Controller イベント・ログとシステム・イベント・ログを確認します。 - 他の LED も点灯していないかを確認します。これは、エラーの原因を示します。37 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」を参照してください。 - 必要に応じて、ログを保存します。 注：NeptAir モジュールまたは NeptCore モジュール が取り付けられたサーバー・モデルでは、トップ・カバーを開き、液体検出センサー・モジュールの LED のステータスを確認する必要があります。詳しくは、40 ページの「漏水検知センサー・モジュール LED」を参照してください。
オフ	なし	サーバーがオフか、サーバーがオンで正しく動作しています。	なし。

4 システム ID ボタンとシステム ID LED

システム ID ボタンおよび青色のシステム ID LED は、サーバーを視覚的に見付けるのに使用します。システム ID LED もサーバー背面にあります。システム ID ボタンを押すたびに、両方のシステム ID LED の状態が変更されます。LED は点灯、点滅、消灯にできます。また、Lenovo XClarity Controller またはリモート管理プログラムを使用してシステム ID LED の状態を変更し、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけることもできます。

XClarity Controller USB コネクタが USB 2.0 機能と XClarity Controller 管理機能の両方の機能用に設定されている場合は、システム ID ボタンを 3 秒間押すことで 2 つの機能を切り替えることができます。

漏水検知センサー・モジュール LED

このトピックでは、漏水検知センサー・モジュール上の LED について説明します。

Processor Neptune® Core Module (NeptCore) の漏水検知センサー・モジュールには、LED が 1 個付属しています。次の図は、モジュール上の LED を示しています。

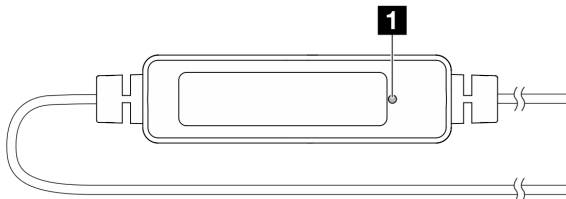


図 20. 漏水検知 LED

次の表では、漏水検知センサー・モジュール LED によって示されるステータスについて説明します。

1 漏水検知センサー LED (緑色)	
説明	- オン: 漏水やケーブル断線の警告はありません。 - 遅い点滅 (1 秒間に約 2 回の点滅): ケーブル断線の警告。 - 速い点滅 (1 秒間に約 5 回の点滅): 漏水の警告。
操作	- ケーブルが断線した場合は、NeptCore モジュール を交換してください (トレーニングを受けた技術員のみ)。 - 漏水が発生した場合は、「ユーザー・ガイド」および「ハードウェア・メンテナンス・ガイド」の「液体冷却モジュールの問題 (NeptCore モジュール)」を参照してください。

パワー・サプライ LED

このトピックでは、各種パワー・サプライ LED ステータスと対応する操作について説明します。

サーバーを起動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- ソケット 1 および 2 に 2 つのプロセッサ
- スロット 10 および 26 に 2 つの DRAM メモリー・モジュール
- パワー・サプライ・ユニット 2 個
- システム・ファン 6 個
- 1 個の 2.5 インチ ドライブ、または 1 個の E3.S 1T ドライブ、または 1 個の M.2 ドライブ (デバッグ用に OS が必要な場合)

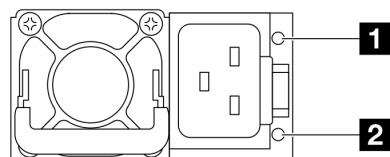


図 21. CRPS プレミアム (CFFv5) パワー・サプライ・ユニットの LED

LED	説明
1 出力および障害ステータス (2 色、緑色と黄色)	出力および障害ステータス LED は、以下のいずれかの状態になります。 - オフ: サーバーの電源がオフか、パワー・サプライ・ユニットが正常に動作していません。サーバーの電源がオンになっているのに LED がオフの場合は、パワー・サプライ・ユニットを交換します。 - 緑色の遅い点滅 (1 秒間に約 1 回の点滅): パワー・サプライはゼロ出力モード (スタンバイ) です。サーバーの電源負荷が低い場合、取り付けられたパワー・サプライの 1 つがスタンバイ状態になり、他の 1 つが負荷全体を担当します。電源負荷が増加すると、スタンバイのパワー・サプライがアクティブ状態に切り替わり、サーバーに十分な電力を供給します。 - 緑色の早い点滅 (1 秒間に約 5 回の点滅): パワー・サプライ・ユニットはファームウェア更新モードです。 - 緑色: サーバーの電源がオンで、パワー・サプライ・ユニットが正常に動作しています。 - 黄色: パワー・サプライ・ユニットに障害が発生しているかもしれません。システムから FFDC ログをダンプし、Lenovo バックエンド・サポート・チームに連絡して PSU データ・ログのレビューを行います。 ゼロ出力モードは、Setup Utility または Lenovo XClarity Controller Web インターフェースを介して無効にすることができます。ゼロ出力モードを無効にすると、両方のパワー・サプライがアクティブ状態になります。 • Setup utility を起動して、システム設定 → 電源 → ゼロ出力 の順に移動し、無効を選択します。ゼロ出力モードを無効にすると、両方のパワー・サプライがアクティブ状態になります。

LED	説明
	Lenovo XClarity Controller Web インターフェースにログインし、サーバー構成 → 電源ポリシーを選択して、ゼロ出力モードを無効にし、適用をクリックします。
2 入力ステータス (単色、緑色)	入力ステータス LED は、以下のいずれかの状態になります。 - オフ: パワー・サプライ・ユニットが入力電源から取り外されています。 - 緑色: パワー・サプライ・ユニットが入力電源に接続されています。 - 点滅 (1Hz): 入力電源が異常です。

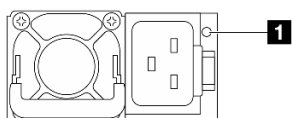


図 22. CRPS PSU の LED (1)

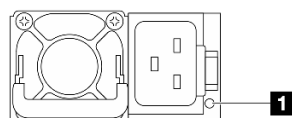


図 23. CRPS PSU の LED (2)

1 パワー・サプライ・ユニット LED (2 色、緑色と黄色)	
ステータス	説明
オン (緑色)	サーバーの電源がオンで、パワー・サプライ・ユニットが正常に動作しています。
点滅 (緑色、1 秒間に約 2 回の点滅)	パワー・サプライ・ユニットはファームウェア更新モードです。
オン (黄色)	パワー・サプライ・ユニットが黄色に点灯している場合: - シナリオ 1: 2 つのパワー・サプライ・ユニットのうち 1 つの電源がオフになっているか、電源コードから抜かれています。同時にもう 1 つの電源装置の電源がオンになっています。 - シナリオ 2: 以下にリストされているいずれかの問題が原因で、パワー・サプライ・ユニットに障害が発生しました。 - 過熱保護 (OTP) - 過電流保護 (OCP) - 過電圧保護 (OVP) - 短絡保護 (SCP) - ファンの障害
点滅 (黄色、1 秒間に約 1 回の点滅)	パワー・サプライ・ユニットに、過熱警告 (OTW)、過電流警告 (OCW)、またはファン速度が遅いことを示す警告が表示されています。
オフ	サーバーの電源がオフか、パワー・サプライ・ユニットが正常に動作していません。サーバーの電源がオンになっているのに LED がオフの場合は、パワー・サプライ・ユニットを交換します。

背面 M.2 LED

このトピックでは、M.2 ドライブ・アセンブリのトラブルシューティングについて説明します。

- 43 ページの「背面 M.2 変換コネクタ上の LED」
- 43 ページの「背面 M.2 ブート・アダプター上の LED」

背面 M.2 変換コネクタ上の LED

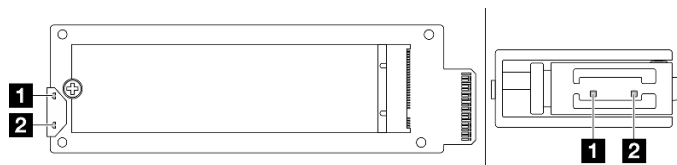


図 24. 背面 M.2 変換コネクタ LED

LED	ステータスと説明
1 活動 LED (緑色)	オン: M.2 ドライブはアイドル状態です。
	オフ: M.2 ドライブはアサート解除済みです。
	点滅 (1 秒間に約 4 回の点滅): M.2 ドライブの I/O アクティビティが進行中です。
2 ステータス LED (黄色)	オン: ドライブ障害が発生しています。
	オフ: M.2 ドライブは正常に動作しています。
	速い点滅 (1 秒間に約 4 回の点滅): M.2 ドライブが検出されています。
	遅い点滅 (1 秒間に約 1 回の点滅): M.2 ドライブは再構築中です。

背面 M.2 ブート・アダプター上の LED

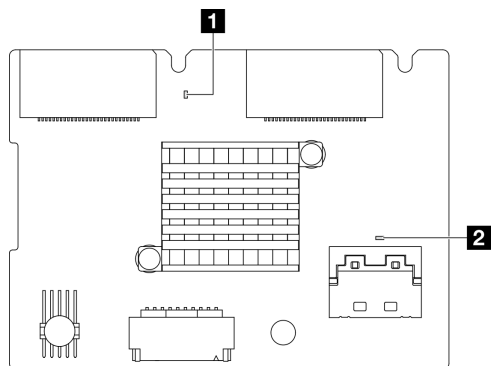


図 25. 背面 M.2 ブート・アダプターの LED

LED	ステータスと説明
1 システム・ハートビート LED (緑色)	点滅: 電源 が点灯し、RAID ファームウェアは正常に動作しています。
	消灯: 電源がオフになっているか、RAID ファームウェアが正常に動作していません。
2 PSoC ハートビート LED (緑色)	点灯: PSoC ファームウェアが正常に動作していません。
	消灯: 電源がオフになっているか、PSoC ファームウェアが正常に動作していません。
	速い点滅 (1 秒間に約 1 回の点滅): コードを更新しています (ブートローダー・モード)。
	遅い点滅 (約 2 秒に 1 回点滅): 初期化を終了しています (アプリケーション・モード)。PSoC ファームウェアは正常に動作しています。

背面システム LED

このトピックでは、サーバーの背面にあるシステム LED について説明します。

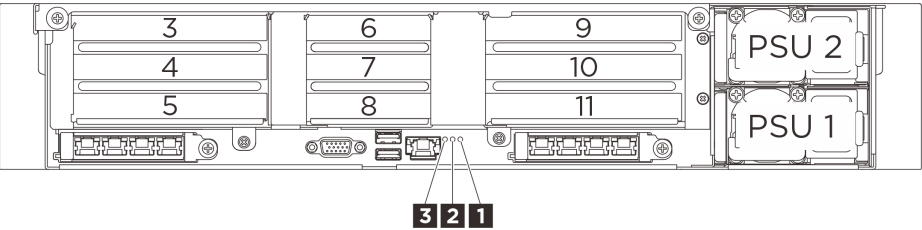


図 26. 背面システム LED

表 12. 背面図のシステム LED

LED	操作
1 システム ID LED (青色)	詳しくは、 46 ページの「システム I/O ボード LED」 を参照してください。
2 XCC ハートビート LED (緑色)	
3 SCM FPGA ハートビート LED (緑色)	

プロセッサ・ボード LED

次の図は、プロセッサ・ボード・アセンブリー上の発光ダイオード (LED) を示しています。

サーバーから給電部が取り外されている場合にプロセッサ・ボード・アセンブリー上の LED を点灯させるには、電源ボタンを押します。

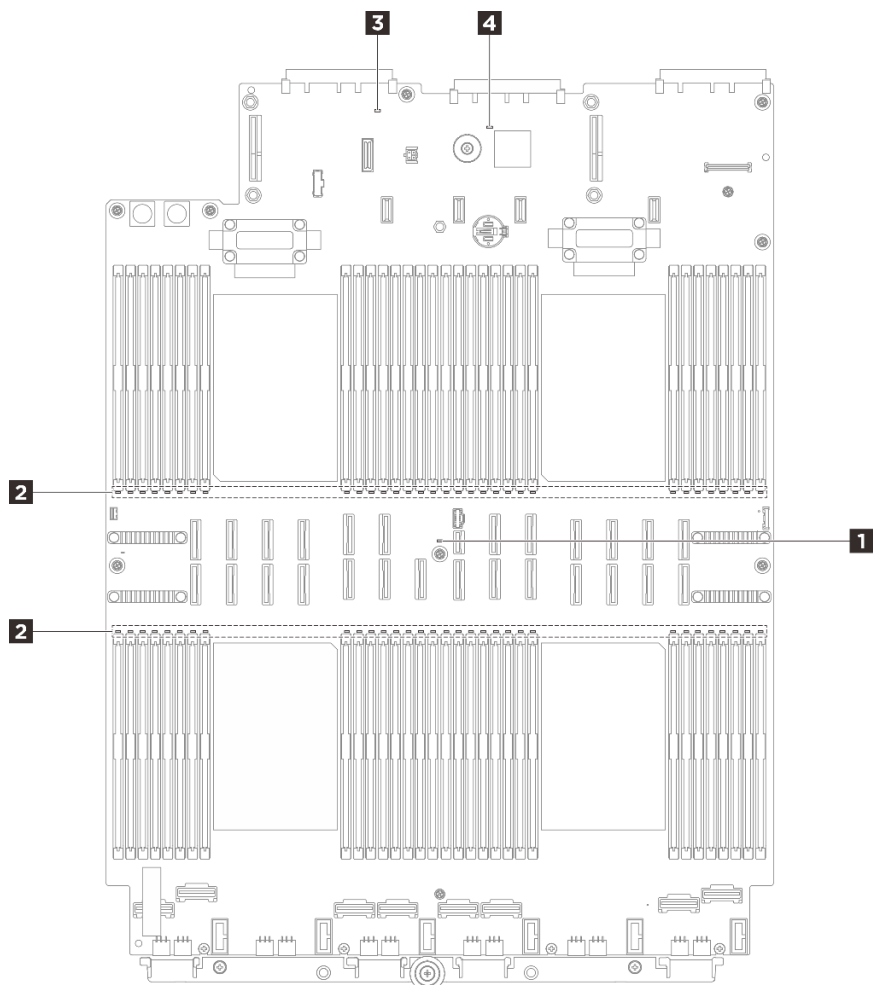


図 27. プロセッサー・ボード LED

表 13. プロセッサー・ボード LED

LED	説明	操作
1 システム・エラー LED (黄色)	この黄色の LED が点灯した場合は、サーバー内の別の 1 つ以上の LED も点灯していることがあり、そこからエラーの原因を突き止めることができます。	システム・ログまたは内部エラー LED を確認し、故障している部品を特定します。詳しくは、 38 ページの「前面オペレーター・パネルの LED とボタン」 を参照してください。
2 DIMM エラー LED (オレンジ色)	メモリー・モジュール・エラー LED が点灯している場合、対応するメモリー・モジュールに障害が発生したことを示しています。	詳しくは、「ユーザー・ガイド」の「メモリーの問題」を参照してください。

表 13. プロセッサ・ボード LED (続き)

LED	説明	操作
3 システム・ステータス LED (緑色)	FPGA ハートビート LED は、FPGA ステータスの識別に役立ちます。 - 点滅 (1 秒間に約 1 回の点滅): FPGA は正常に動作しています。 - オンまたはオフ: FPGA は動作していません。	- システム・ステータス LED が 5 分以上速く点滅し、電源をオンにできない場合は、47 ページの表 14 「XCC ハートビート LED」を確認してください。 - システム状況 LED オフのままである、または速い点滅 (1 秒間に約 4 回の点滅) で前面パネルのシステム・エラー LED がオン (黄色) の場合は、システムは電源障害ステータスになっています。以下を実行します。 - 電源コードを再接続します。 - 取り付けられたアダプター/デバイスを、デバッグの最小構成になるまで一度に 1 つずつ取り外します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合、FFDC ログをキャプチャーし、プロセッサ・ボードを交換します。 - それでも問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。
4 FPGA ハートビート LED (緑色)	システム状況 LED は、システムの動作状況を示しています。 - 速い点滅 (1 秒間に約 4 回の点滅): 電源障害または XCC 電源許可準備完了を待機中。 - 遅い点滅 (1 秒間に約 1 回の点滅): 電源がオフになっていて、オンにする準備ができています (スタンバイ状態)。 - オン: 電源オン。	FPGA ハートビート LED が常にオフまたは常にオンの場合、以下を行います。 - プロセッサ・ボードを交換します。 - 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

システム I/O ボード LED

次の図は、データセンター・セキュア・コントロール・モジュール (DC-SCM) とも呼ばれるシステム I/O ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

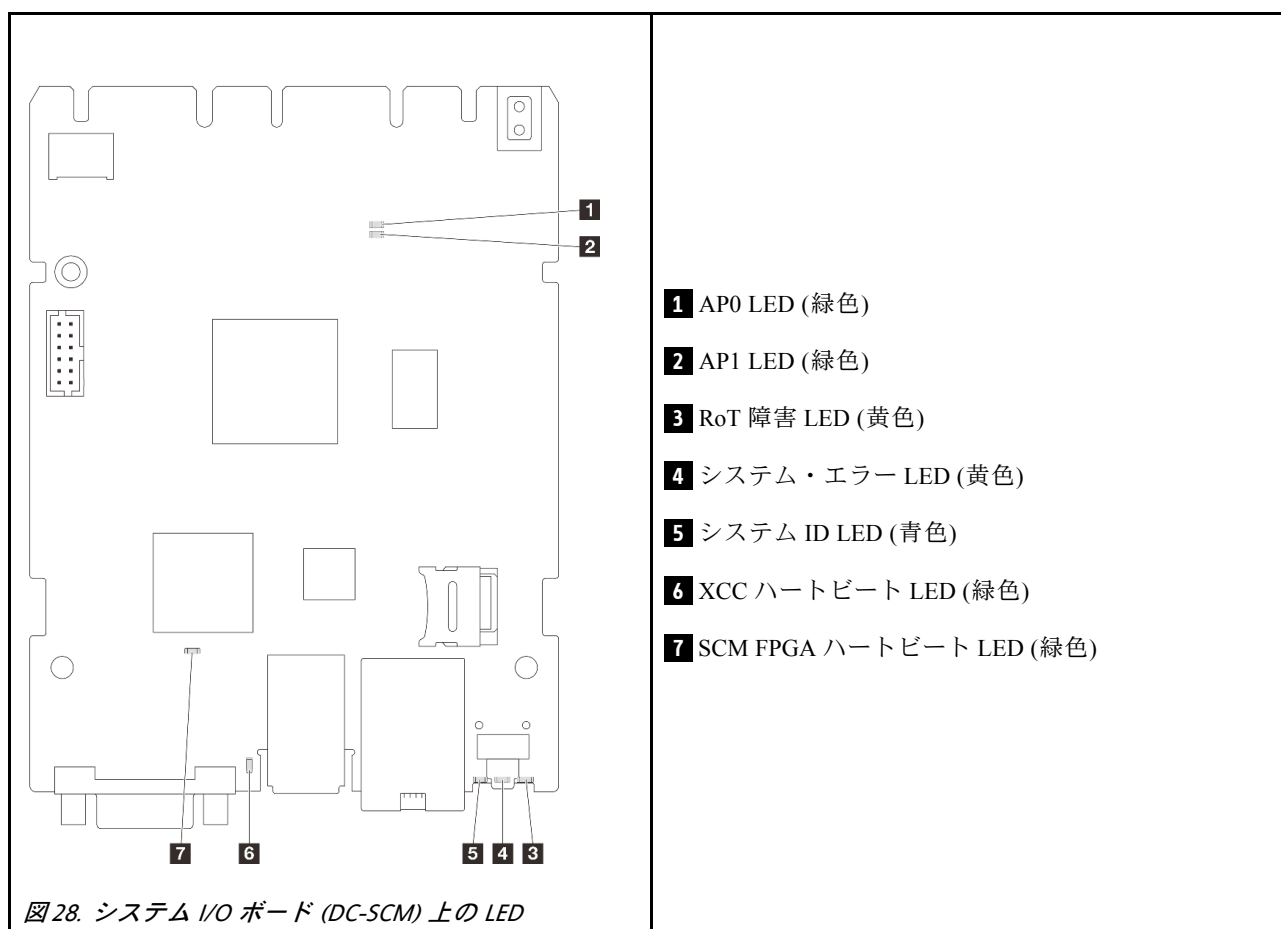


表 14. LED の説明

シナリオ	1 AP0 LED	2 AP1 LED	3 RoT 障害 LED	6 XCC ハートビート LED	7 SCM FPGA ハートビート LED	アクション
RoT セキュリティー・モジュールの致命的なファームウェア・エラー	オフ	オフ	オン	該当なし	該当なし	システム I/O ボードを交換します。
	点滅	該当なし	オン	該当なし	該当なし	システム I/O ボードを交換します。
システム電源なし (FPGA ハートビート LED がオフ)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	AC 電源がオンであるがシステム・ボード・アセンブリーに電力が供給されていない場合、以下を行います。 1. パワー・サプライ・ユニット (PSU) または電源変換コネクタ・ボード (PIB) がある場合はその状態をチェックします。PSU または PIB にエラーがある場合は交換します。 2. PSU または PIB が正常な場合は以下を行います。

表 14. LED の説明 (続き)

シナリオ	1 AP0 LED	2 AP1 LED	3 RoT 障害 LED	6 XCC ハートビート LED	7 SCM FPGA ハートビート LED	アクション
						a. システム I/O ボードを交換します。 b. プロセッサ・ボードを交換します。
XCC ファームウェアのリカバリー可能エラー	点滅	該当なし	オフ	該当なし	該当なし	通知メッセージ。操作は不要です。
XCC ファームウェアがエラーから回復した	点滅	該当なし	オフ	該当なし	該当なし	通知メッセージ。操作は不要です。
UEFI ファームウェアの認証エラー	該当なし	点滅	オフ	該当なし	該当なし	通知メッセージ。操作は不要です。
UEFI ファームウェアが認証エラーから回復した	該当なし	オン	オフ	該当なし	該当なし	通知メッセージ。操作は不要です。
システムは正常 (FPGA ハートビート LED がオン)	オン	オン	オフ	点滅 (1 Hz)	オン	通知メッセージ。操作は不要です。

4 システム・エラー LED (黄色)	
説明	この黄色の LED が点灯した場合は、サーバー内の別の 1 つ以上の LED も点灯していることがあり、そこからエラーの原因を突き止めることができます。
操作	システム・ログまたは内部エラー LED を確認し、故障している部品を特定します。詳しくは、 38 ページの「前面オペレーター・パネルの LED とボタン」 を参照してください。

5 システム ID LED (青色)	
説明	前面システム ID LED は、サーバーを見つける場合に役に立ちます。
操作	前面パネルのシステム ID ボタンを押すたびに、両方のシステム ID LED の状態が変更されます。状態にはオン、点滅、オフがあります。

6 XCC ハートビート LED (緑色)	
説明	XCC ハートビート LED は、XCC ステータスの識別に役立ちます。 - 点滅 (1 Hz、1 秒間に約 1 回の点滅): XCC は正常に動作しています。 - 他の速度で点滅または常にオン: XCC は初期フェーズにあるか、正常に動作していません。 - オフ: XCC は動作していません。
操作	- XCC ハートビート LED が常にオフまたは常にオンの場合、以下を行います。 - XCC にアクセスできない場合: - 電源コードを再接続します。 - システム I/O ボードが正常に取り付けられていることを確認します。(トレーニングを受けた技術員のみ) 必要に応じて再度取り付けます。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム I/O ボードを交換します。 - XCC にアクセスできる場合、システム I/O ボードを交換します。 - XCC ハートビート LED が 5 分以上高速で点滅し続ける場合、以下を行います。

6 XCC ハートビート LED (緑色)	
	1. 電源コードを再接続します。 2. システム I/O ボードが正常に取り付けられていることを確認します。(トレーニングを受けた技術員のみ) 必要に応じて再度取り付けます。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム I/O ボードを交換します。 • XCC ハートビート LED が 5 分以上低速で点滅し続ける場合、以下を行います。 1. 電源コードを再接続します。 2. システム I/O ボードが正常に取り付けられていることを確認します。(トレーニングを受けた技術員のみ) 必要に応じて再度取り付けます。 3. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

XCC システム管理ポート LED

このトピックでは、XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) の LED について説明します。

次の表では、XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) 上の LED によって示される問題について説明します。

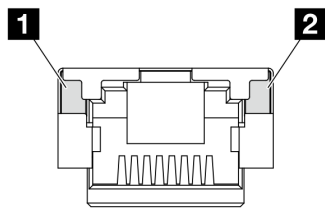


図 29. XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) 上の LED

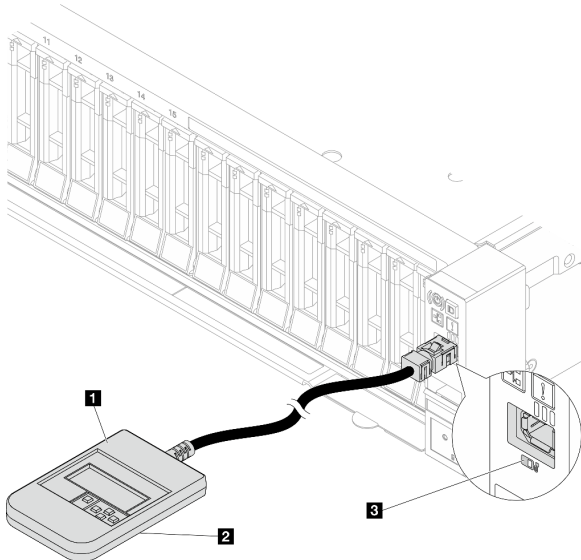
表 15. XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) LED

LED	説明
1 XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) (1GB RJ-45) イーサネット・ポート・リンク LED	この緑色の LED は、ネットワーク接続性のステータスを区別するために使用します。 • オフ: ネットワーク・リンクが切断されています。 • 緑: ネットワーク・リンクが確立されています。
2 XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) (1 GB RJ-45) イーサネット・ポート活動 LED	この緑色の LED は、ネットワーク活動のステータスを区別するために使用します。 • オフ: サーバーが LAN から切断されています。 • 緑: ネットワークに接続されており、ネットワークはアクティブです。

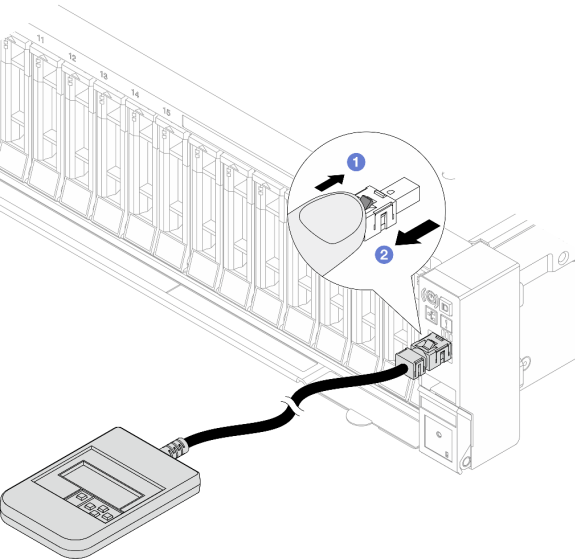
外部診断ハンドセット

外部診断ハンドセットとは、ケーブルでサーバーに接続されている外部デバイスを指し、エラー、システム・ステータス、ファームウェア、ネットワークおよびヘルスなどのシステム情報に簡単にアクセスできます。

外部診断ハンドセットの位置

位置	コールアウト
外部診断ハンドセットは、外部ケーブルを使用してサーバーに接続できます。 	1 外部診断ハンドセット
	2 磁性の下部 このコンポーネントを使用して、診断ハンドセットをラックの上部または側面に取り付けると、サービス・タスクのために手を空けることができます。
	3 外部診断コネクタ このコネクタは、サーバーの前面にあり、外部診断ハンドセットに接続するのに使用されます。

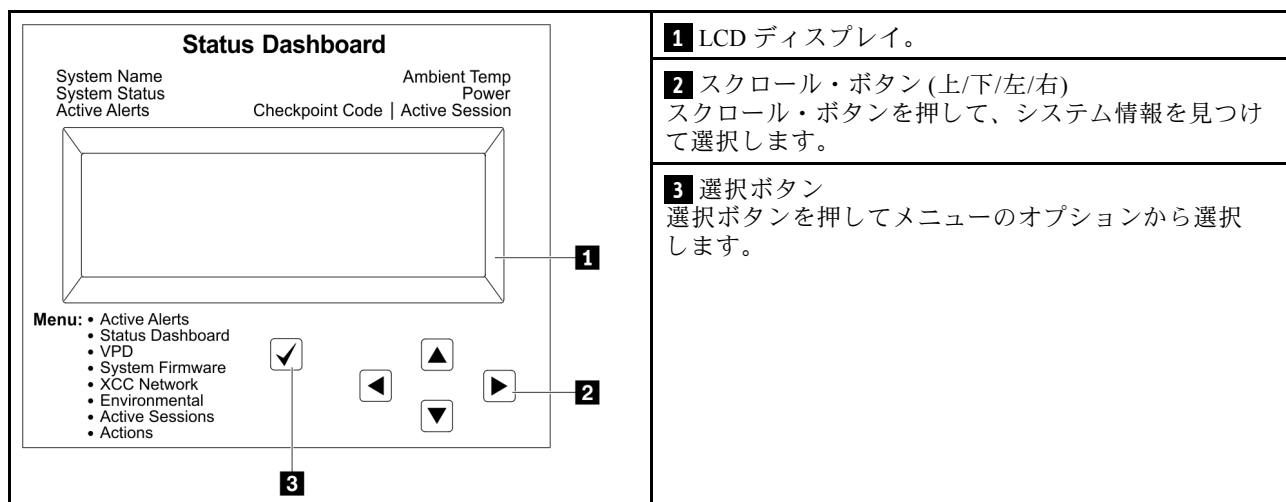
注：外部診断ハンドセットを取り外す際は、以下の手順を参照してください。



- 1 プラグのプラスチック・クリップを前方に押しします。
- 2 クリップを持ったまま、コネクタからケーブルを取り外します。

表示パネルの概要

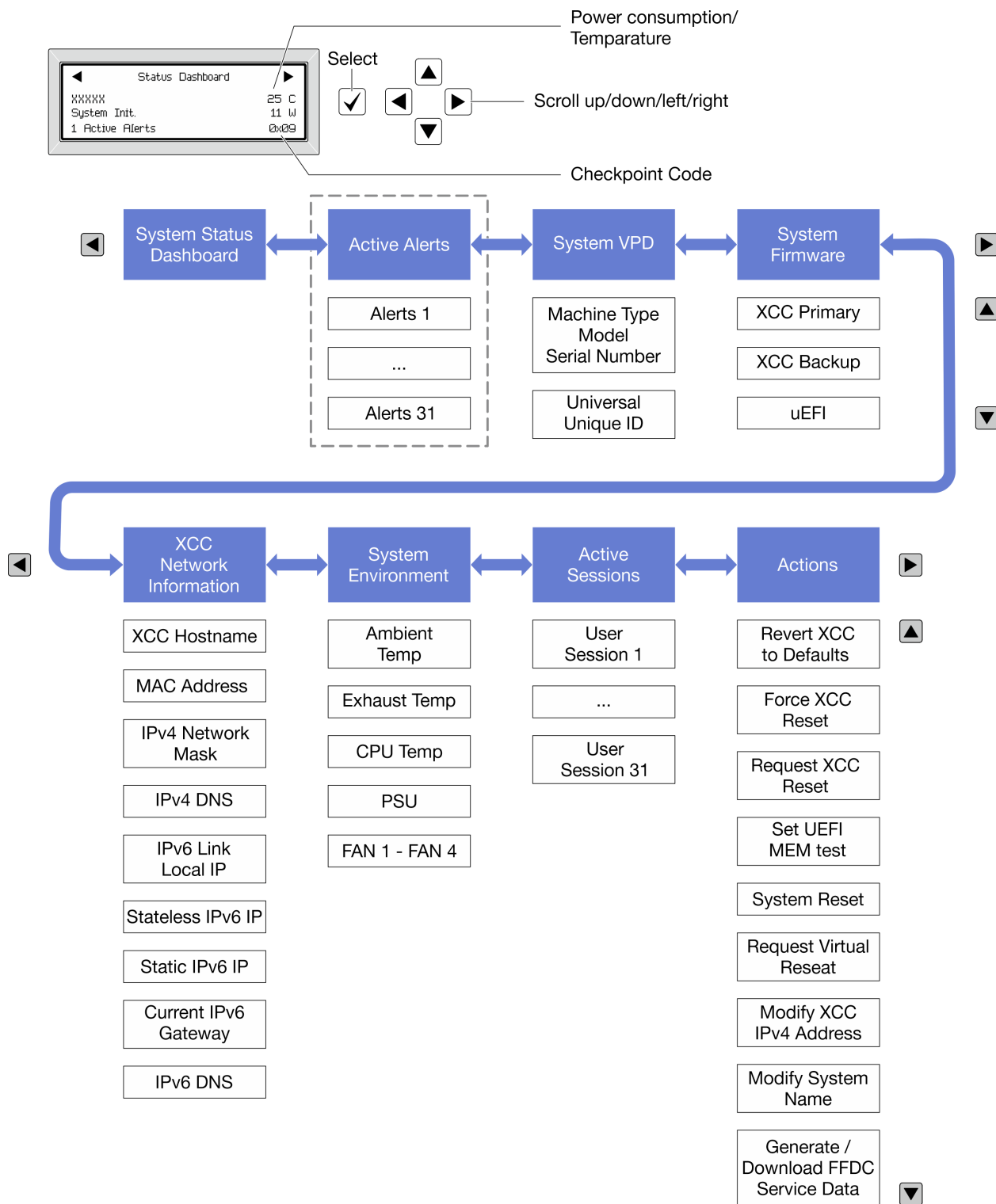
診断デバイスは、LCD ディスプレイと 5 つのナビゲーション・ボタンで構成されます。



オプション・フロー・ダイアグラム

LCD パネルのディスプレイにはさまざまなシステム情報が表示されます。スクロール・キーを使用してオプション間を移動します。

モデルによっては、LCD ディスプレイのオプションとエントリーが異なる場合があります。



フル・メニュー・リスト

使用可能なオプションのリストを次に示します。オプションと下位の情報項目間は選択ボタンで切り替えます。オプション間または情報項目間の切り替えは選択ボタンで切り替えます。

モデルによっては、LCD ディスプレイのオプションとエントリーが異なる場合があります。

ホーム・メニュー (システム・ステータス・ダッシュボード)

ホーム・メニュー	例
1 システム名 2 システム・ステータス 3 アクティブなアラートの数 4 温度 5 電力使用量 6 チェックポイント・コード	The screenshot shows a 'Status Dashboard' with the following elements: 1: Points to the system name 'xxxxxx'. 2: Points to the system status 'System Init.'. 3: Points to the number of active alerts '1 Active Alerts'. 4: Points to the temperature '25 C'. 5: Points to the power usage '11 W'. 6: Points to the check point code '0x09'.

アクティブなアラート

サブメニュー	例
ホーム画面: アクティブなエラーの数 注:「アクティブなアラート」メニューには、アクティブなエラーの数のみが表示されます。エラーが生じない場合、ナビゲーション中に「アクティブなアラート」メニューが使用できなくなります。	1 Active Alerts
詳細画面: - エラー・メッセージ ID (タイプ: エラー/警告/情報) - 発生時刻 - エラーの考えられる原因	Active Alerts: 1 Press ▼ to view alert details FQXSPPU009N(Error) 04/07/2020 02:37:39 PM CPU 1 Status: Configuration Error

システム VPD 情報

サブメニュー	例
- マシン・タイプおよびシリアル番号 - 汎用固有 ID (UUID)	Machine Type: xxxx Serial Num: xxxxxx Universal Unique ID: xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

システム・ファームウェア

サブメニュー	例
XCC プライマリー - ファームウェア・レベル(ステータス) - ビルド ID - バージョン番号 - リリース日	XCC Primary (Active) Build: DVI399T Version: 4.07 Date: 2020-04-07
XCC バックアップ - ファームウェア・レベル(ステータス) - ビルド ID - バージョン番号 - リリース日	XCC Backup (Active) Build: D8BT05I Version: 1.00 Date: 2019-12-30
UEFI - ファームウェア・レベル(ステータス) - ビルド ID - バージョン番号 - リリース日	UEFI (Inactive) Build: D0E101P Version: 1.00 Date: 2019-12-26

XCC ネットワーク情報

サブメニュー	例
- XCC ホスト名 - MAC アドレス - IPv4 ネットワーク・マスク - IPv4 DNS - IPv6 リンク・ローカル IP - ステートレス IPv6 IP - 静的 IPv6 IP - 現在の IPv6 ゲートウェイ - IPv6 DNS 注：現在使用中の MAC アドレスのみが表示されます (拡張または共用)。	XCC Network Information XCC Hostname: XCC-xxxx-SN MAC Address: XX:XX:XX:XX:XX:XX IPv4 IP: XX.XX.XX.XX IPv4 Network Mask: X.X.X.X IPv4 Default Gateway: X.X.X.X

システム環境情報

サブメニュー	例
• 周辺温度 • 排気温度 • CPU 温度 • PSU ステータス • ファンの回転速度 (RPM)	Ambient Temp: 24 C Exhaust Temp: 30 C CPU1 Temp: 50 C PSU1: Vin= 213 w Inlet= 26 C FAN1 Front: 21000 RPM FAN2 Front: 21000 RPM FAN3 Front: 21000 RPM FAN4 Front: 21000 RPM

アクティブ・セッション

サブメニュー	例
アクティブ・セッションの数	Active User Sessions: 1

操作

サブメニュー	例
いくつかのクイック・アクションが使用可能です。 • XCC をデフォルトに戻す • XCC リセットの強制 • XCC リセットの要求 • UEFI メモリー・テストの設定 • 仮想再取り付けの要求 • XCC 静的 IPv4 アドレス/ネット・マスク/ゲートウェイの変更 • システム名の変更 • FFDC サービス・データの生成/ダウンロード	Request XCC Reset? This will request the BMC to reboot itself. Hold ✓ for 3 seconds

第 3 章 部品リスト

部品リストを使用して、サーバーで使用できる各コンポーネントを識別します。

部品の注文について詳しくは、以下を参照してください。

1. <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスしてご使用のサーバーのサポート・ページに移動します。
2. 「Parts (部品)」をクリックします。
3. ご使用のサーバーの部品リストを表示するにはシリアル番号を入力します。

新しい部品を購入する前に、Lenovo Capacity Planner を使用してサーバーの電力要約データを確認することを強くお勧めします。

注：モデルによっては、ご使用のサーバーの外観は、図と若干異なる場合があります。

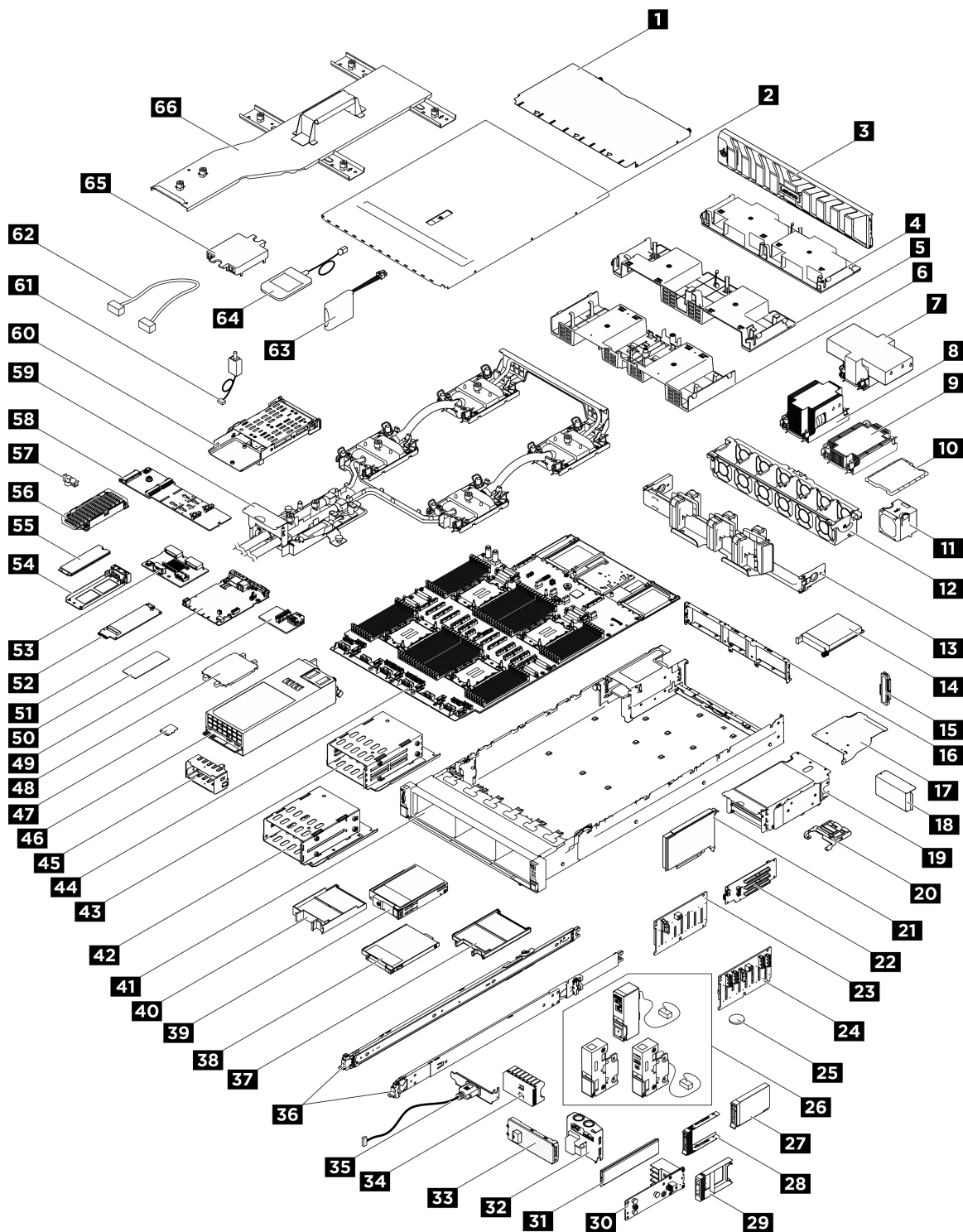


図 30. サーバー・コンポーネント

次の表にリストした部品は、次のいずれかとして識別されます。

- T1: Tier 1 のお客様の交換可能部品 (CRU)。Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行ってください。サービス契約がない場合に、お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の取り付けを行った場合は、その料金を請求させていただきます。

- T2: Tier 2 のお客様の交換可能部品 (CRU)。Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーにおいて指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付けを依頼することもできます。
- F: フィールド交換ユニット (FRU)。FRU の取り付けは、必ずトレーニングを受けたサービス技術員が行う必要があります。
- C: 消耗部品と構造部品。消耗部品および構造部品 (フィラーやベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換は、お客様の責任で行ってください。お客様の要請により Lenovo が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。

番号	説明	タイプ	番号	説明	タイプ
部品の注文について詳しくは、以下を参照してください。 1. http://datacentersupport.lenovo.com にアクセスしてご使用のサーバーのサポート・ページに移動します。 2. 「Parts (部品)」をクリックします。 3. ご使用のサーバーの部品リストを表示するにはシリアル番号を入力します。					
1	背面トップ・カバー	T1	2	前面トップ・カバー	T1
3	セキュリティー・ベゼル	T1	4	エアー・バッフル (背面、2U パフォーマンス PHM)	T1
5	エアー・バッフル (背面、2U 標準 PHM)	T1	6	エアー・バッフル (前面)	T1
7	2U パフォーマンス・ヒートシンクおよびプロセッサ・キャリア	F	8	2U 標準ヒートシンクおよびプロセッサ・キャリア	F
9	1U 標準ヒートシンクおよびプロセッサ・キャリア	F	10	プロセッサ	F
11	ファン	T1	12	ファン・ケージ	T1
13	ケーブル管理アーム	T2	14	OCP モジュール	T1
15	OCP モジュール・フィラー	C	16	背面の壁	F
17	PCIe ライザー・エクステンダー	T2	18	PCIe ライザー・ケージ・フィラー	C
19	PCIe ライザー・ケージ	T2	20	PCIe 保持具	T1
21	PCIe アダプター	T1	22	PCIe ライザー・カード	T2
23	8 x 2.5 インチ SAS/SATA 前面バックプレーン	T2	24	8 x 2.5 インチ AnyBay 前面バックプレーン	T2
25	CMOS バッテリー (CR2032)	C	26	ラック・ラッチ	T1
27	2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブ	T1	28	2.5 インチ ドライブ・トレイ	T1
29	2.5 インチ ドライブ・フィラー (1 ベイ)	C	30	E3.S バックプレーン	T2
31	メモリー・モジュール	T1/F ₁	32	分電盤	T2
33	E3.S ベゼル	T1	34	2.5 インチ ドライブ・フィラー (8 ベイ)	C
35	シリアル・ポート・アセンブリー	T1	36	スライド・レール・キット	T2
37	E3.S 1T ドライブ・フィラー	C	38	E3.S 1T ドライブ	T1
39	E3.S 2T CMM	T1	40	E3.S 2T CMM フィラー	C
41	シャーシ	F	42	E3.S 2T CMM ケージ	C
43	E3.S 1T ドライブ・ケージ	C	44	プロセッサ・ボード	F
45	パワー・サプライ・フィラー	C	46	パワー・サプライ・ユニット	T1

番号	説明	タイプ	番号	説明	タイプ
47	MicroSD カード	F	48	プロセッサ・ソケット・カバー	C
49	USB I/O ボード	T1	50	M.2 サーマル・パッド	F
51	システム I/O ボード (DC-SCM)	F	52	M.2 変換コネクタ	T2
53	背面 M.2 ブート・アダプター	T2	54	M.2 ドライブ・トレイ	C
55	M.2 ドライブ	T1	56	M.2 ヒートシンク	F
57	M.2 の保持器具	T2	58	M.2 ブート・アダプター	T1
59	Processor Neptune® Core Module (NeptCore)	F	60	背面 M.2 ドライブ・ケージ	C
61	侵入検出スイッチ	T1	62	ケーブル	T1
63	フラッシュ電源モジュール	T1	64	外部診断ハンドセット	T1
65	コールド・プレート・カバー	C	66	ウォーター・ループ配送用ブラケット	F

注：1 2U パフォーマンス PHM 搭載時のメモリー・モジュール・スロット 1 ～ 32 のメモリー・モジュールの場合。

電源コード

サーバーが設置されている国および地域に合わせて、複数の電源コードを使用できます。

サーバーで使用できる電源コードを参照するには、次のようにします。

1. 以下へ進んでください。
<http://dcsc.lenovo.com/#/>
2. 「Preconfigured Model (事前構成モデル)」または「Configure to order (注文構成製品)」をクリックします。
3. サーバーのマシン・タイプおよびモデルを入力して、コンフィギュレーター・ページを表示します。
4. すべての電源コードを表示するには、「Power (電源)」 → 「Power Cables (電源ケーブル)」の順にクリックします。

注：

- 本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。
- 米国およびカナダで使用される本製品の電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) によってリストされ、Canadian Standards Association (CSA) によって認可されています。
- 115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。
- 230 ボルト (米国における) 用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、タンデム・ブレード型、15 アンペア 250 ボルト定格の接地端子付きプラグ。
- 230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。
- 特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

第 4 章 開梱とセットアップ

このセクションの情報は、サーバーを開梱してセットアップするときに役立ちます。サーバーを開梱するときは、パッケージ内の項目が正しいかどうかを確認し、サーバーのシリアル番号と Lenovo XClarity Controller のアクセスに関する情報が記載されている場所を確認します。サーバーをセットアップするときは、必ず [63 ページの「サーバー・セットアップ・チェックリスト」](#) の手順に従ってください。

サーバーのパッケージ内容

サーバーを受け取ったら、受け取るべきものがすべて含まれていることを確認します。

サーバー・パッケージには、以下の品目が含まれます。

- サーバー
- レール取り付けキット*。パッケージにはインストール・ガイドが付属しています。
- ケーブル管理アーム*。パッケージにはインストール・ガイドが付属しています。
- 資料ボックス (アクセサリ・キット、電源コード*、印刷された資料などが同梱)。

注：

- リストされている項目の一部は、一部のモデルでのみ使用できます。
- アスタリスク (*) が付いている項目はオプションです。

万一、品物が不足または損傷していた場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。ご購入を証明するものと梱包材は保管しておいてください。保証サービスを受ける際にそれらが必要になる場合があります。

サーバーを識別し、Lenovo XClarity Controller にアクセスする

このセクションでは、ご使用のサーバーを識別する方法と Lenovo XClarity Controller のアクセス情報がある場所について説明します。

サーバーの識別

Lenovo のサービスやサポートを受ける場合に、マシン・タイプ、モデル、およびシリアル番号の情報は、技術担当者がお客様のサーバーを特定して迅速なサービスをご提供するのに役立ちます。

以下の図は、サーバーのモデル番号、マシン・タイプ、シリアル番号が記載された ID ラベルの位置を示しています。また、お客様ラベル・スペースで、他のシステム情報ラベルをサーバーの前面に追加することもできます。

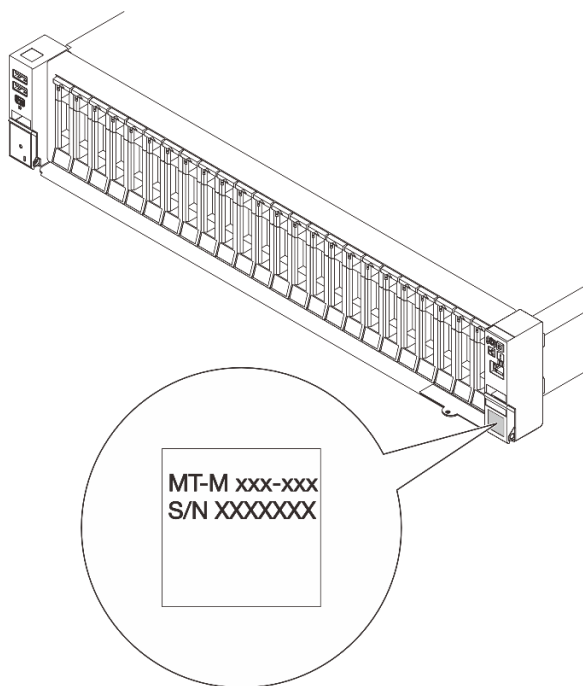


図 31. ID ラベルの位置

Lenovo XClarity Controller ネットワーク・アクセス・ラベル

また、Lenovo XClarity Controller ネットワーク・アクセス・ラベルは、シャーシの前面の右下の端付近にある引き出し式情報タブに貼付されています。引っ張ると MAC アドレスにアクセスできます。

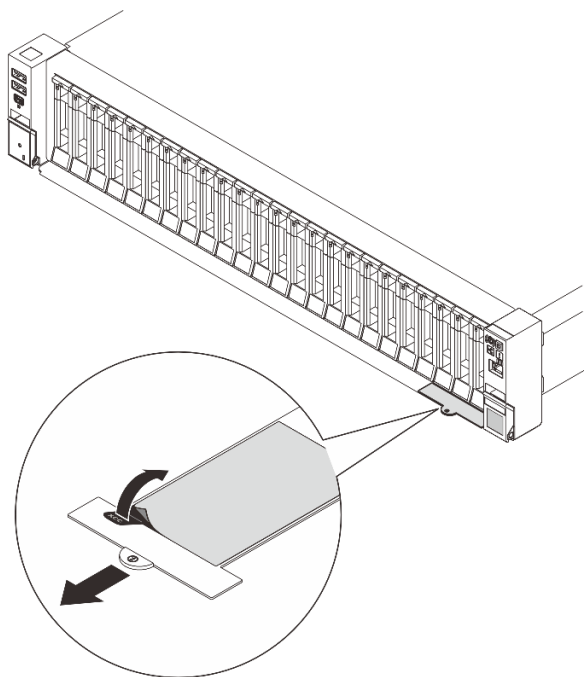


図 32. 引き出し式情報タブにある Lenovo XClarity Controller のネットワーク・アクセス・ラベル

サービス情報と QR コード

前面トップ・カバーの表面には、サービス情報へのモバイル・アクセスを提供する QR コードがあります。モバイル・デバイスで QR コード読み取りアプリケーションを使用して QR コードをスキャンすると、サービス情報 Web ページにすぐにアクセスできます。サービス情報 Web ページでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

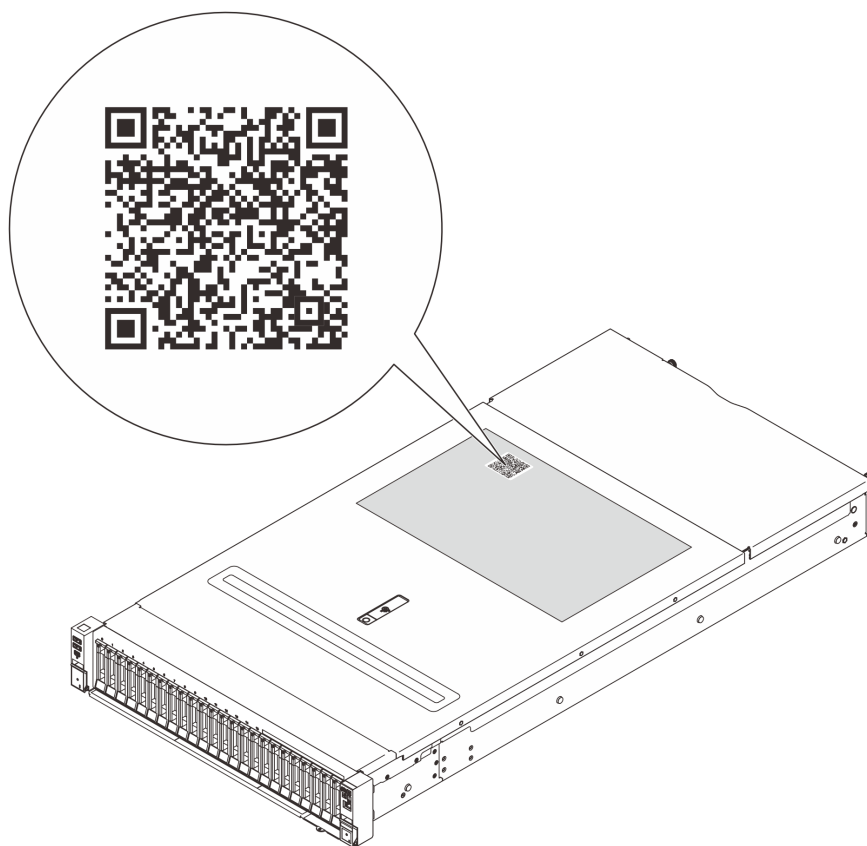


図 33. サービス情報と QR コード

サーバー・セットアップ・チェックリスト

サーバー・セットアップ・チェックリストを使用して、サーバーのセットアップに必要なすべてのタスクを実行したことを確認できます。

サーバー・セットアップ・チェックリストは、納品時のサーバー構成によって異なります。サーバーが完全に構成されている場合は、サーバーをネットワークと AC 電源に接続し、サーバーの電源をオンにするだけで済みます。他の場合では、サーバーへのハードウェア・オプションの取り付け、ハードウェアやファームウェアの構成、およびオペレーティング・システムのインストールが必要となります。

以下のステップで、サーバーをセットアップするための一般的な手順を説明します。

サーバー・ハードウェアのセットアップ

サーバー・ハードウェアをセットアップするには、以下の手順を実行します。

1. サーバー・パッケージを開梱します。61 ページの「サーバーのパッケージ内容」を参照してください。

2. 必要なハードウェアまたはサーバー・オプションを取り付けます。「ユーザー・ガイド」または「ハードウェア・メンテナンス・ガイド」の「ハードウェア交換手順」にある関連トピックを参照してください。
3. 必要に応じて、ルールと CMA を標準ラック・キャビネットに取り付けます。ルール取り付けキットに付属する「ルール取り付けガイド」と「CMA 取り付けガイド」の指示に従います。
4. 必要に応じて、サーバーを標準ラック・キャビネットに取り付けます。「ユーザー・ガイド」または「ハードウェア・メンテナンス・ガイド」の「ラックへのサーバーの取り付け」を参照してください。
5. すべての外部ケーブルをサーバーに接続します。コネクタの位置については、[17 ページの第 2 章「サーバー・コンポーネント」](#)を参照してください。

通常は、以下のケーブルを接続する必要があります。

- サーバーを電源に接続する
 - サーバーをデータ・ネットワークに接続する
 - サーバーをストレージ・デバイスに接続する
 - サーバーを管理ネットワークに接続する
6. サーバーの電源をオンにします。

電源ボタンの位置と電源 LED については、以下で説明されています。

- [17 ページの第 2 章「サーバー・コンポーネント」](#)
- [37 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」](#)

次のいずれかの方法で、サーバーの電源をオン (電源 LED が点灯) にできます。

- 電源ボタンを押す。
- 停電の後、サーバーが自動的に再起動する。
- Lenovo XClarity Controller に送信されるリモート・パワーオン要求にサーバーが応答する。

注：サーバーの電源をオンにしなくても、管理プロセッサ・インターフェースにアクセスしてシステムを構成できます。サーバーが電源に接続されているときは常に、管理プロセッサ・インターフェースを使用できます。管理サーバー・プロセッサへのアクセスについては、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/>にある、ご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「XClarity Controller Web インターフェースの開始と使用」セクションを参照してください。

7. サーバーを検証します。電源 LED、イーサネット・コネクタ LED、ネットワーク LED が緑色に点灯していることを確認します。これは、サーバー・ハードウェアが正常にセットアップされたことを意味します。

LED 表示についての詳細は、[37 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」](#)を参照してください。

システムの構成

システムを構成するには、以下の手順を実行します。詳細な手順については、[67 ページの第 5 章「システム構成」](#)を参照してください。

1. Lenovo XClarity Controller のネットワーク接続を管理ネットワークに設定します。
 2. 必要に応じて、サーバーのファームウェアを更新します。
 3. サーバーのファームウェアを構成します。
- 以下の情報は、RAID 構成に使用可能です。

- <https://lenovopress.lenovo.com/lp0578-lenovo-raid-introduction>
- <https://lenovopress.lenovo.com/lp0579-lenovo-raid-management-tools-and-resources>

4. オペレーティング・システムをインストールします。
5. サーバー構成をバックアップします。

6. サーバーが使用するプログラムおよびアプリケーションをインストールします。

第 5 章 システム構成

システムを構成するには、以下の手順を実行します。

Lenovo XClarity Controller のネットワーク接続の設定

ネットワーク経由で Lenovo XClarity Controller にアクセスする前に、Lenovo XClarity Controller がネットワークに接続する方法を指定する必要があります。ネットワーク接続の実装方法によっては、静的 IP アドレスも指定する必要がある場合があります。

DHCP を使用しない場合、Lenovo XClarity Controller のネットワーク接続の設定に次の方法を使用できます。

- モニターがサーバーに接続されている場合、Lenovo XClarity Provisioning Manager を使用してネットワーク接続を設定できます。

Lenovo XClarity Provisioning Manager を使用して Lenovo XClarity Controller をネットワークに接続するには、以下の手順を実行します。

1. サーバーを起動します。
2. 画面の指示で指定されたキーを押して Lenovo XClarity Provisioning Manager インターフェースを表示します (詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> のお使いのサーバーと互換性のある LXPM の「スタートアップ」セクションを参照してください。)
3. 「LXPM」→「UEFI セットアップ」→「BMC 設定」に移動し、Lenovo XClarity Controller がネットワークに接続する方法を指定します。
 - 静的 IP 接続を選択する場合は、ネットワークで利用できる IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを指定してください。
 - DHCP 接続を選択する場合は、サーバーの MAC アドレスが DHCP サーバーで構成されていることを確認します。
4. 「OK」をクリックして設定を適用し、2～3 分待ちます。
5. IPv4 または IPv6 アドレスを使用して Lenovo XClarity Controller を接続します。

重要：Lenovo XClarity Controller は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSWORD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。このデフォルトのユーザー設定では、Supervisor アクセス権があります。拡張セキュリティーを使用するには、初期構成時にこのユーザー名とパスワードを変更する必要があります。

- モニターがサーバーに接続されていない場合は、Lenovo XClarity Controller インターフェースを経由してネットワーク接続を設定できます。ラップトップからご使用のサーバーの XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) コネクターにイーサネット・ケーブルを接続します。XCC システム管理ポート (10/100/1000 Mbps RJ-45) の位置については、[17 ページの第 2 章「サーバー・コンポーネント」](#)を参照してください。

注：サーバーのデフォルト設定と同じネットワークになるように、ラップトップの IP 設定を変更してください。

デフォルトの IPv4 アドレスおよび IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、引き出し式情報タブに貼付されている Lenovo XClarity Controller ネットワーク・アクセス・ラベルに記載されています。[61 ページの「サーバーを識別し、Lenovo XClarity Controller にアクセスする」](#)を参照してください。

Lenovo XClarity Controller 接続用の USB ポートの設定

USB ポートを経由して Lenovo XClarity Controller にアクセスする前に、Lenovo XClarity Controller 接続に対して USB ポートを構成する必要があります。

サーバー・サポート

サーバーが、USB ポート経由の Lenovo XClarity Controller へのアクセスをサポートしているかを確認するには、以下のいずれかをチェックします。

- 17 ページの第 2 章「サーバー・コンポーネント」を参照してください。



- ご使用のサーバーの USB ポートにレンチアイコンがある場合は、Lenovo XClarity Controller への接続用に管理 USB ポートを設定できます。また、システム I/O ボード (またはファームウェアおよび RoT セキュリティ・モジュール) の USB 自動化更新をサポートしている唯一の USB ポートです。

Lenovo XClarity Controller 接続用 USB ポートの設定

USB ポートは、次のいずれかの手順を実行して、通常と Lenovo XClarity Controller 管理操作の間で切り替えることができます。

- ID ボタンを、LED がゆっくりと (2 秒に 1 回) 点滅するまで、3 秒以上押し続けます。ID ボタンの位置については、17 ページの第 2 章「サーバー・コンポーネント」を参照してください。
- Lenovo XClarity Controller 管理コントローラー CLI から、usbfp コマンドを実行します。Lenovo XClarity Controller CLI の使用については、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にある、ご使用のサーバーと互換性のある XCC 文書の「コマンド・ライン・インターフェース」セクションを参照してください。
- Lenovo XClarity Controller 管理コントローラー Web インターフェースから、「BMC 構成」→「ネットワーク」→「USB 管理ポート割り当て」の順にクリックします。Lenovo XClarity Controller Web インターフェースの機能に関する情報については、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にある、ご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「Web インターフェースでの XClarity Controller 機能の説明」セクションを参照してください。

USB ポートの現在の設定の確認

Lenovo XClarity Controller 管理コントローラー CLI (usbfp コマンド)、または Lenovo XClarity Controller 管理コントローラー Web インターフェース (「BMC 構成」→「ネットワーク」→「USB 管理ポート割り当て」) を使用して、USB ポートの現在の設定を確認することもできます。<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にある、ご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「コマンド・ライン・インターフェース」セクションおよび「Web インターフェースでの XClarity Controller 機能の説明」セクションを参照してください。

ファームウェアの更新

サーバーのファームウェア更新には、いくつかのオプションを使用できます。

以下にリストされているツールを使用してご使用のサーバーの最新のファームウェアおよびサーバーに取り付けられているデバイスを更新できます。

注：以下の順序でファームウェアを更新することをお勧めします。

- BMC (XCC)
 - FPGA HPM
 - FPGA SCM
 - UEFI
-
- ファームウェアの更新に関するベスト・プラクティスは、以下のサイトで入手できます。
 - <https://lenovopress.lenovo.com/lp0656-lenovo-thinksystem-firmware-and-driver-update-best-practices>
 - 最新のファームウェアは、以下のサイトにあります。
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/products/servers/thinksystem/sr850v4/7djt/downloads/driver-list/>

- 製品に関する通知を購読して、ファームウェア更新を最新の状態に保つことができます。

– <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/ht509500>

更新バンドル (サービス・パック)

Lenovo は通常、更新バンドル (サービス・パック) と呼ばれるバンドルでファームウェアをリリースしています。すべてのファームウェア更新に互換性を持たせるために、すべてのファームウェアを同時に更新する必要があります。Lenovo XClarity Controller と UEFI の両方のファームウェアを更新する場合は、最初に Lenovo XClarity Controller のファームウェアを更新してください。

更新方法に関する用語

- インバンド更新。** サーバーのコア CPU で稼働するオペレーティング・システム内のツールまたはアプリケーションを使用してインストールまたは更新が実行されます。
- アウト・オブ・バンド更新。** Lenovo XClarity Controller が更新を収集してから、ターゲット・サブシステムまたはデバイスに更新を指示することで、インストールまたは更新が実行されます。アウト・オブ・バンド更新では、コア CPU で稼働するオペレーティング・システムに依存しません。ただし、ほとんどのアウト・オブ・バンド操作では、サーバーが S0 (稼働) 電源状態である必要があります。
- オン・ターゲット更新。** ターゲット・サーバー自体で実行されているインストール済みのオペレーティング・システムからインストールまたは更新が実行されます。
- オフ・ターゲット更新。** サーバーの Lenovo XClarity Controller と直接やり取りするコンピューティング・デバイスからインストールまたは更新が実行されます。
- 更新バンドル (サービス・パック)。** 更新バンドル (サービス・パック) は、互いに依存するレベルの機能、パフォーマンス、互換性を提供するように設計されテストされたバンドル更新です。更新バンドル (サービス・パック) は、サーバーのマシン・タイプ固有であり、特定の Windows Server、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) および SUSE Linux Enterprise Server (SLES) オペレーティング・システム・ディストリビューションをサポートするように (ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新で) 作成されています。マシン・タイプ固有のファームウェア専用更新バンドル (サービス・パック) も用意されています。

ファームウェア更新ツール

ファームウェアのインストールとセットアップに使用する最適な Lenovo ツールを判別するには、次の表を参照してください。

ツール	サポートされる更新方法	コア・システム・ファームウェア更新	I/O デバイスのファームウェア更新	ドライブ・ファームウェア更新	グラフィカル・ユーザー・インターフェース	コマンド・ライン・インターフェース	更新バンドル (サービス・パック) をサポート
Lenovo XClarity Provisioning Manager (LXPM)	インバンド ² オン・ターゲット	✓			✓		
Lenovo XClarity Controller (XCC)	インバンド ⁴ アウト・オブ・バンド オフ・ターゲット	✓	選択された I/O デバイス	✓ ³	✓		✓

ツール	サポートされる更新方法	コア・システム・ファームウェア更新	I/O デバイスのファームウェア更新	ドライブ・ファームウェア更新	グラフィカル・ユーザー・インターフェース	コマンド・ライン・インターフェース	更新バンドル (サービス・パック) をサポート
Lenovo XClarity Essentials OneCLI (OneCLI)	インバンド アウト・オブ・バンド オン・ターゲット オフ・ターゲット	√	すべての I/O デバイス	√ ³		√	√
Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress (LXCE)	インバンド アウト・オブ・バンド オン・ターゲット オフ・ターゲット	√	すべての I/O デバイス		√		√
Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator (BoMC)	インバンド アウト・オブ・バンド オフ・ターゲット	√	すべての I/O デバイス		√ (BoMC アプリケーション)	√ (BoMC アプリケーション)	√
Lenovo XClarity Administrator (LXCA)	インバンド ¹ アウト・オブ・バンド ² オフ・ターゲット	√	すべての I/O デバイス	√	√		√
Lenovo XClarity Integrator (LXCI) VMware vCenter 用	アウト・オブ・バンド オフ・ターゲット	√	選択された I/O デバイス		√		

ツール	サポートされる更新方法	コア・システム・ファームウェア更新	I/O デバイスのファームウェア更新	ドライブ・ファームウェア更新	グラフィカル・ユーザー・インターフェース	コマンド・ライン・インターフェース	更新バンドル (サービス・パック) をサポート
Lenovo XClarity Integrator (LXCI) Microsoft Windows Admin Center 用	インバンド アウト・オブ・バンド オン・ターゲット オフ・ターゲット	✓	すべての I/O デバイス		✓		✓
注： - I/O ファームウェア更新の場合。 - BMC および UEFI ファームウェア更新の場合。 - ドライブ・ファームウェア更新は、以下のツールおよび方法でのみサポートされています。 - XCC ベア・メタル更新 (BMU): インバンド。システムのリブートが必要です。 - Lenovo XClarity Essentials OneCLI: インバンド、システム・リブートは必要ありません。 - ベア・メタル更新 (BMU) のみ。							

● Lenovo XClarity Provisioning Manager

Lenovo XClarity Provisioning Manager から、Lenovo XClarity Controller ファームウェア、UEFI ファームウェア、Lenovo XClarity Provisioning Manager ソフトウェアを更新できます。

注：サーバーを起動して画面の指示に従って指定されたキーを押すと、デフォルトでは、Lenovo XClarity Provisioning Manager グラフィカル・ユーザー・インターフェースが表示されます。このデフォルトをテキスト・ベースのシステム・セットアップに変更した場合は、テキスト・ベースのシステム・セットアップ・インターフェースからグラフィカル・ユーザー・インターフェースを起動できます。

Lenovo XClarity Provisioning Manager を使用したファームウェアの更新に関する追加情報については、以下を参照してください。

<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある LXPM に関する資料の「ファームウェア更新」セクション

● Lenovo XClarity Controller

特定の更新をインストールする必要がある場合、特定のサーバーに Lenovo XClarity Controller インターフェースを使用できます。

注：

- Windows または Linux でインバンド更新を実行するには、オペレーティング・システム・ドライバがインストールされており、Ethernet-over-USB (LAN over USB と呼ばれることもあります) インターフェースが有効になっている必要があります。

Ethernet over USB の構成に関する追加情報については、以下を参照してください。

<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にある、ご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料のバージョンの「Ethernet over USB の構成」セクション

- Lenovo XClarity Controller を経由してファームウェアを更新する場合は、サーバーで実行されているオペレーティング・システム用の最新のデバイス・ドライバがダウンロードおよびインストールされていることを確認してください。

Lenovo XClarity Controller を使用したファームウェアの更新に関する追加情報については、以下を参照してください。

<https://pubs.lenovo.com/lxccc-overview/>にある、ご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「サーバー・ファームウェアの更新」セクション

- **Lenovo XClarity Essentials OneCLI**

Lenovo XClarity Essentials OneCLI は、Lenovo サーバーの管理に使用できる複数のコマンド・ライン・アプリケーションのコレクションです。これの更新アプリケーションを使用して、サーバーのファームウェアおよびデバイス・ドライバを更新できます。更新は、サーバー (インバンド) のホスト・オペレーティング・システム内で、またはサーバー (アウト・オブ・バンド) の BMC を介してリモートで実行できます。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用したファームウェアの更新に関する追加情報については、以下を参照してください。

https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_c_update

- **Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress**

Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress は、グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を介して OneCLI のほとんどの更新機能を提供します。これを使用して、更新バンドル (サービス・パック) 更新パッケージおよび個別の更新を取得してデプロイします。更新バンドル (サービス・パック) には、Microsoft Windows と Linux のファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新が含まれます。

Lenovo XClarity Essentials UpdateXpress は、次の場所から入手できます。

<https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/lvno-xpress>

- **Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator**

Lenovo XClarity Essentials Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用、VPD の更新、インベントリおよび FFDC 収集、高度なシステム構成、FoD キー管理、安全な消去、RAID 構成、サポートされるサーバーでの診断に適したブート可能メディアを作成することができます。

Lenovo XClarity Essentials BoMC は、以下の場所から入手できます。

<https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/lvno-bomc>

- **Lenovo XClarity Administrator**

Lenovo XClarity Administrator を使用して複数のサーバーを管理している場合は、このインターフェースを使用してすべての管理対象サーバーでファームウェアを更新できます。ファームウェア管理は管理対象エンドポイントに対してファームウェア・コンプライアンス・ポリシーを割り当てることによって簡略化されます。コンプライアンス・ポリシーを作成して管理対象エンドポイントに割り当てると、Lenovo XClarity Administrator はこれらのエンドポイントに対するインベントリの変更を監視し、コンプライアンス違反のエンドポイントにフラグを付けます。

Lenovo XClarity Administrator を使用したファームウェアの更新に関する追加情報については、以下を参照してください。

https://pubs.lenovo.com/lxca/update_fw

- **Lenovo XClarity Integrator 製品**

Lenovo XClarity Integrator 製品は、VMware vCenter、Microsoft Admin Center、または Microsoft System Center などの特定のデプロイメントインフラで使用するソフトウェアに、Lenovo XClarity Administrator およびお使いのサーバーの管理機能を統合することができます。

Lenovo XClarity Integrator を使用したファームウェアの更新に関する追加情報については、以下を参照してください。

<https://pubs.lenovo.com/lxci-overview/>

ファームウェアの構成

サーバーのファームウェアのインストールとセットアップには、いくつかのオプションを使用できます。

注：UEFI レガシー・モードは、ThinkSystem V4 製品ではサポートされていません。

- **Lenovo XClarity Provisioning Manager (LXPM)**

Lenovo XClarity Provisioning Manager では、サーバーの UEFI 設定を構成できます。

注：Lenovo XClarity Provisioning Manager には、サーバーを構成するためのグラフィカル・ユーザー・インターフェースが用意されています。システム構成へのテキスト・ベースのインターフェース (Setup Utility) も使用できます。Lenovo XClarity Provisioning Manager で、サーバーを再起動してテキスト・ベースのインターフェースにアクセスすることを選択できます。さらに、テキスト・ベースのインターフェースを、LXPM 開始時に表示されるデフォルト・インターフェースにするように選択できます。これを行うには、Lenovo XClarity Provisioning Manager → 「UEFI セットアップ」 → 「システム設定」 → 「<F1> スタート制御」 → 「テキスト・セットアップ」に移動します。グラフィック・ユーザー・インターフェースを使用してサーバーを起動するには、「自動」または「ツール・スイート」を選択します。

詳しくは、次の資料を参照してください。

- <https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> で、ご使用のサーバーと互換性のある LXPM に関する資料のバージョンを検索します。
- <https://pubs.lenovo.com/uefi-overview/> にある「UEFI ユーザー・ガイド」

- **Lenovo XClarity Essentials OneCLI**

構成アプリケーションおよびコマンドを使用して現在のシステム構成設定を表示し、Lenovo XClarity Controller と UEFI に変更を加えることができます。保存された構成情報は、他のシステムを複製またはリストアするために使用できます。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用したサーバーの構成については、以下を参照してください。

https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_c_settings_info_commands

- **Lenovo XClarity Administrator**

一貫した構成を使用して、すべてのサーバーを簡単にプロビジョニングおよび事前プロビジョニングできます。構成設定 (ローカル・ストレージ、I/O アダプター、ブート設定、ファームウェア、ポート、Lenovo XClarity Controller や UEFI の設定など) はサーバー・パターンとして保管され、1 つ以上の管理対象サーバーに適用できます。サーバー・パターンが更新されると、その変更は適用対象サーバーに自動的にデプロイされます。

Lenovo XClarity Administrator を使用したサーバーの構成に関する特定の詳細情報は、以下から入手できます。

https://pubs.lenovo.com/lxca/server_configuring

- **Lenovo XClarity Controller**

サーバーの管理プロセッサは、Lenovo XClarity Controller Web インターフェース、コマンド・ライン・インターフェースまたは Redfish API 経由で構成できます。

Lenovo XClarity Controller を使用したサーバーの構成については、以下を参照してください。

<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にある、ご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「サーバーの構成」セクション

メモリー・モジュール構成

メモリー・パフォーマンスは、メモリー・モード、メモリー速度、メモリー・ランク、メモリー装着構成、プロセッサなど、複数の変動要素によって決まります。

メモリー・パフォーマンスの最適化とメモリーの構成については、Lenovo Press Web サイトを参照してください。

<https://lenovopress.lenovo.com/servers/options/memory>

さらに、以下のサイトで入手可能なメモリー コンフィギュレーターを活用できます。

https://dcsc.lenovo.com/#/memory_configuration

ソフトウェア・ガード・エクステンションズ (SGX) を有効にする

Intel® ソフトウェア・ガード・エクステンション (Intel® SGX) は、セキュリティー境界には CPU パッケージの内部のみが含まれるという前提で動作し、DRAM は信頼できない状態のままになります。

以下の手順に従って SGX を有効にします。

- ステップ 1. **必ず**「ユーザー・ガイド」または「ハードウェア・メンテナンス・ガイド」の「メモリー・モジュールの取り付け規則および順序」セクションを参照してください。このセクションでは、サーバーが SGX をサポートするかどうかを指定し、SGX 構成のメモリー・モジュールの取り付け順序を示しています。(DIMM 構成で SGX をサポートするには、ソケットごとに少なくとも 8 つの DIMM が必要です)。
- ステップ 2. システムを再起動します。オペレーティング・システムを起動する前に、画面の指示で指定されているキーを押して、Setup Utility に移動します。(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/>のお使いのサーバーと互換性のある LXPM の「スタートアップ」セクションを参照してください。)
- ステップ 3. 「System settings」→「Processors」→「Total Memory Encryption (TME)」に移動し、オプションを有効にします。
- ステップ 4. 変更を保存して、「System settings」→「Processors」→「SW Guard Extension (SGX)」に移動し、オプションを有効にします。

RAID 構成

RAID (Redundant Array of Independent Disks) を使用したデータの保存は今でも、サーバーのストレージ・パフォーマンス、可用性、容量を向上するために最もよく利用され、最もコスト効率のいい方法の 1 つです。

RAID は、複数のドライブが I/O 要求を同時に処理できるようにすることによりパフォーマンスを高めま
す。さらに、RAID は、障害が発生したドライブの欠落データを残りのドライブのデータを使用して再構
築することにより、ドライブに障害が発生した場合でもデータ損失を防ぐことができます。

RAID アレイ (RAID ドライブ・グループともいいます) は、特定の一般的な方法を使用してドライブ間でデータを分散する複数の物理ドライブのグループです。仮想ドライブ (仮想ディスクまたは論理ドライブともいいます) は、ドライブ上の連続したデータ・セグメントで構成されるドライブ・グループのパーティションです。仮想ドライブは、OS 論理ドライブまたはボリュームを作成するために分割できる物理ディスクとしてホスト・オペレーティング・システムに表示されます。

RAID の概要は、以下の Lenovo Press Web サイトで参照できます。

<https://lenovopress.lenovo.com/lp0578-lenovo-raid-introduction>

RAID の管理ツールおよびリソースに関する詳細情報は、以下の Lenovo Press Web サイトで参照できます。

<https://lenovopress.lenovo.com/lp0579-lenovo-raid-management-tools-and-resources>

Intel VROC

Intel VROC の有効化

NVMe ドライブの RAID をセットアップする前に、以下の手順に従って VROC を有効にします。

1. システムを再起動します。オペレーティング・システムを起動する前に、画面の指示で指定されているキーを押して、Setup Utility に移動します。(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> のお使いのサーバーと互換性のある LXPm の「スタートアップ」セクションを参照してください。)
2. 「システム設定」 → 「デバイスおよび I/O ポート」 → 「Intel® VMD テクノロジー」 → 「Intel® VMD テクノロジーの有効化/無効化」に移動し、オプションを有効にします。
3. 変更を保存して、システムをリブートします。

Intel VROC の構成

Intel は、RAID レベルおよび SSD のサポートが異なるさまざまな VROC を提供します。詳しくは、以下を参照してください。

注：

- サポートされる RAID レベルはモデルによって異なります。SR850 V4 によってサポートされる RAID レベルについては、[技術仕様](#)を参照してください。
- アクティベーション・キーの取得とインストールについて詳しくは、<https://fod.lenovo.com/lkms> を参照してください。

PCIe NVMe SSDs の Intel VROC 構成	要件
Intel VROC 標準	• RAID レベル 0、1、および 10 をサポート • アクティベーション・キーが必要です
Intel VROC プレミアム	• RAID レベル 0、1、5、および 10 をサポート • アクティベーション・キーが必要です
ブート可能 RAID	• RAID 1 のみ • アクティベーション・キーが必要です

オペレーティング・システムのデプロイ

サーバーにオペレーティング・システムをデプロイするには、いくつかのオプションが使用できます。

利用可能なオペレーティング・システム

- Microsoft Windows Server
- Red Hat Enterprise Linux
- SUSE Linux Enterprise Server
- カノニカル Ubuntu

利用可能なオペレーティング・システムの全リスト: <https://lenovopress.lenovo.com/osig>。

ツール・ベースのデプロイメント

- マルチサーバー

使用可能なツール:

- Lenovo XClarity Administrator
https://pubs.lenovo.com/lxca/compute_node_image_deployment
- Lenovo XClarity Essentials OneCLI
https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_r_uxspi_proxy_tool
- シングル・サーバー
使用可能なツール:
 - Lenovo XClarity Provisioning Manager
<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある LXPM に関する資料の「OS インストール」セクション
 - Lenovo XClarity Essentials OneCLI
https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_r_uxspi_proxy_tool

手動デプロイメント

上記のツールにアクセスできない場合は、以下の手順に従って、対応する「OS インストール・ガイド」をダウンロードし、ガイドを参照してオペレーティング・システムを手動でデプロイしてください。

1. <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/server-os> へ進んでください。
2. ナビゲーション・ウィンドウでオペレーティング・システムを選択して「Resources (リソース)」をクリックします。
3. 「OS インストール・ガイド」を見つけ、インストール手順をクリックします。次に、指示に従って操作システム・デプロイメント・タスクを完了します。

サーバー構成のバックアップ

サーバーをセットアップしたり、構成に変更を加えたりした後は、サーバー構成の完全なバックアップを作成することをお勧めします。

以下のサーバー・コンポーネントのバックアップを作成してください。

● 管理プロセッサ

管理プロセッサ構成は、Lenovo XClarity Controller インターフェースを使用してバックアップすることができます。管理プロセッサ構成のバックアップについて詳しくは、以下を参照してください。

<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「BMC 構成のバックアップ」セクション。

または、Lenovo XClarity Essentials OneCLI から `save` コマンドを使用して、すべての構成設定のバックアップを作成することもできます。`save` コマンドについて詳しくは、以下を参照してください。

https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_r_save_command

● オペレーティング・システム

サーバーでオペレーティング・システムおよびユーザー・データをバックアップするには、各ユーザーに合わせたバックアップ方式を使用します。

付録 A ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

WWW 上の以下の Web サイトで、Lenovo システム、オプション・デバイス、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com>

注：IBM は、ThinkSystem に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行してお客様自身で問題の解決を試みてください。サポートを受けるために連絡が必要と判断した場合、問題を迅速に解決するためにサービス技術員が必要とする情報を収集します。

お客様自身での問題の解決

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。オンライン・ヘルプにも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

ThinkSystem 製品については、以下の場所で製品ドキュメントが見つかります。

<https://pubs.lenovo.com/>

以下の手順を実行してお客様自身で問題の解決を試みることができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション・デバイスの電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。(以下のリンクを参照してください) Lenovo 保証規定には、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることが明記されています(追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
 - ドライバおよびソフトウェアのダウンロード
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/products/servers/thinksystem/sr850v4/7djt/downloads/driver-list/>
 - オペレーティング・システム・サポート・センター
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/server-os>
 - オペレーティング・システムのインストール手順
 - <https://pubs.lenovo.com/thinksystem#os-installation>

- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<https://serverproven.lenovo.com> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- 問題の特定と解決の手順については、ユーザー・ガイドまたはハードウェア・メンテナンス・ガイドの「問題判別」を参照してください。
- <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。ご使用のサーバーで利用可能な技術ヒントを検索するには：
 1. <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスしてご使用のサーバーのサポート・ページに移動します。
 2. ナビゲーション・ペインで「How To's (ハウツー)」をクリックします。
 3. ドロップダウン・メニューから「Article Type (記事タイプ)」→「Solution (ソリューション)」をクリックします。
 画面に表示される指示に従って、発生している問題のカテゴリを選択します。
- https://forums.lenovo.com/t5/Datacenter-Systems/ct-p/sv_eg の Lenovo Data Center フォーラムで、同様の問題が発生していないかどうかを確認してください。

サポートへの連絡に必要な情報の収集

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要な場合は、依頼する前に適切な情報を準備していただけると、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。または製品の保証について詳しくは、<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup> で参照できます。

サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。

- ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
- マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン識別番号)。マシン・タイプ番号は ID ラベルに記載されています。詳しくは、61 ページの「サーバーを識別し、Lenovo XClarity Controller にアクセスする」を参照してください。
- 型式番号
- シリアル番号
- 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
- エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

Lenovo サポートに連絡する代わりに、<https://support.lenovo.com/servicerequest> にアクセスして Electronic Service Request を送信することもできます。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。Lenovo サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

サービス・データの収集

サーバーの問題の根本原因をはっきり特定するため、または Lenovo サポートの依頼によって、詳細な分析に使用できるサービス・データを収集する必要がある場合があります。サービス・データには、イベント・ログやハードウェア・インベントリなどの情報が含まれます。

サービス・データは以下のツールを使用して収集できます。

- **Lenovo XClarity Provisioning Manager**

Lenovo XClarity Provisioning Manager のサービス・データの収集機能を使用して、システム・サービス・データを収集します。既存のシステム・ログ・データを収集するか、新しい診断を実行して新規データを収集できます。

- **Lenovo XClarity Controller**

Lenovo XClarity Controller Web インターフェースまたは CLI を使用してサーバーのサービス・データを収集できます。ファイルは保存でき、Lenovo サポートに送信できます。

- Web インターフェースを使用したサービス・データの収集について詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「BMC 構成のバックアップ」セクションを参照してください。
- CLI を使用したサービス・データの収集について詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料のバージョンの「XCC servicelog コマンド」セクションを参照してください。

- **Lenovo XClarity Administrator**

一定の保守可能イベントが Lenovo XClarity Administrator および管理対象エンドポイントで発生した場合に、診断ファイルを収集し自動的に Lenovo サポートに送信するように Lenovo XClarity Administrator をセットアップできます。Call Homeを使用して診断ファイルを Lenovo サポートに送信するか、SFTP を使用して別のサービス・プロバイダーに送信するかを選択できます。また、手動で診断ファイルを収集したり、問題レコードを開いたり、診断ファイルを Lenovo サポートに送信したりもできます。

Lenovo XClarity Administrator 内での自動問題通知のセットアップに関する詳細情報は https://pubs.lenovo.com/lxca/admin_setupcallhome で参照できます。

- **Lenovo XClarity Essentials OneCLI**

Lenovo XClarity Essentials OneCLI には、サービス・データを収集するインベントリ・アプリケーションがあります。インバンドとアウト・オブ・バンドの両方で実行できます。サーバーのホスト・オペレーティング・システムで実行する場合、OneCLI では、ハードウェア・サービス・データに加えて、オペレーティング・システム・イベント・ログなどオペレーティング・システムに関する情報を収集できます。

サービス・データを取得するには、getinfor コマンドを実行できます。getinfor の実行についての詳細は、https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_r_getinfor_command を参照してください。

サポートへのお問い合わせ

サポートに問い合わせで問題に関するヘルプを入手できます。

ハードウェアの保守は、Lenovo 認定サービス・プロバイダーを通じて受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定サービス・プロバイダーを見つけるには、<https://datacentersupport.lenovo.com/serviceprovider> にアクセスし、フィルターを使用して国別で検索します。Lenovo サポートの電話番号については、<https://datacentersupport.lenovo.com/supportphonelist> で地域のサポートの詳細を参照してください。

付録 B 資料とサポート

このセクションでは、便利なドキュメント、ドライバーとファームウェアのダウンロード、およびサポート・リソースを紹介します。

資料のダウンロード

このセクションでは、便利なドキュメントの概要とダウンロード・リンクを示しています。

資料

以下の製品ドキュメントは、次のリンクからダウンロードできます。

https://pubs.lenovo.com/sr850v4/pdf_files.html

- **レール取り付けガイド**
 - ラックでのレールの取り付け
- **ユーザー・ガイド**
 - 完全な概要、システム構成、ハードウェア・コンポーネントの交換、トラブルシューティング。
「ユーザー・ガイド」の特定の章が含まれています。
 - **システム構成ガイド**: サーバーの概要、コンポーネント ID、システム LED と診断ディスプレイ、製品の開梱、サーバーのセットアップと構成。
 - **ハードウェア・メンテナンス・ガイド**: ハードウェア・コンポーネントの取り付けとトラブルシューティング。
- **ケーブル配線ガイド**
 - ケーブル配線情報。
- **メッセージとコードのリファレンス**
 - XClarity Controller、LXPM、uEFI イベント
- **UEFI マニュアル**
 - UEFI 設定の概要

サポート Web サイト

このセクションでは、ドライバーとファームウェアのダウンロードおよびサポート・リソースを紹介します。

サポートおよびダウンロード

- ThinkSystem SR850 V4 のドライバーおよびソフトウェアのダウンロード Web サイト
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/products/servers/thinksystem/sr850v4/7djt/downloads/driver-list/>
- Lenovo Data Center フォーラム
 - https://forums.lenovo.com/t5/Datacenter-Systems/ct-p/sv_eg
- ThinkSystem SR850 V4 の Lenovo データセンターサポート
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/products/servers/thinksystem/sr850v4/7djt/>
- Lenovo ライセンス情報ドキュメント
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/documents/lnvo-eula>

- Lenovo Press Web サイト (製品ガイド/データシート/ホワイトペーパー)
 - <https://lenovopress.lenovo.com/>
- Lenovo プライバシーに関する声明
 - <https://www.lenovo.com/privacy>
- Lenovo 製品セキュリティー・アドバイザリー
 - https://datacentersupport.lenovo.com/product_security/home
- Lenovo 製品保証 プラン
 - <http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>
- Lenovo サーバー・オペレーティング・システム・サポート・センター Web サイト
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/server-os>
- Lenovo ServerProven Web サイト (オプション互換性参照)
 - <https://serverproven.lenovo.com>
- オペレーティング・システムのインストール手順
 - <https://pubs.lenovo.com/thinksystem#os-installation>
- eTicket (サービス要求) を送信する
 - <https://support.lenovo.com/servicerequest>
- Lenovo Data Center Group の製品に関する通知を購読する (ファームウェア更新を最新の状態に保つ)
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/ht509500>

付録 C 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、いかなる特許出願においても実施権を許諾することを意味するものではありません。お問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
8001 Development Drive
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として「現存するままの状態」で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

LENOVO および THINKSYSTEM は Lenovo の商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の知的財産です。

重要事項

プロセッサの速度とは、プロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハードディスク・ドライブの最大容量は、Lenovo から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハードディスク・ドライブの代わりに使用し、すべてのハードディスク・ドライブ・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを **total bytes written (TBW)** と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。Lenovo は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

電波障害自主規制特記事項

このデバイスにモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制デバイスを使用してください。

その他の電波障害自主規制特記事項は以下に掲載されています。

https://pubs.lenovo.com/important_notices/

台灣地域 BSMI RoHS 宣言

單元 Unit	限用物質及其化學符號 Restricted substances and its chemical symbols					
	鉛Lead (Pb)	汞Mercury (Hg)	鎘Cadmium (Cd)	六價鉻 Hexavalent chromium (Cr ⁶⁺)	多溴聯苯 Polybrominated biphenyls (PBB)	多溴二苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)
機架	○	○	○	○	○	○
外部蓋板	○	○	○	○	○	○
機械組零件	—	○	○	○	○	○
空氣傳動設備	—	○	○	○	○	○
冷卻組零件	—	○	○	○	○	○
內存模組	—	○	○	○	○	○
處理器模組	—	○	○	○	○	○
電纜組零件	—	○	○	○	○	○
電源供應器	—	○	○	○	○	○
儲備設備	—	○	○	○	○	○
印刷電路板	—	○	○	○	○	○
備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。 Note1 : “exceeding 0.1wt%” and “exceeding 0.01 wt%” indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition. 備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。 Note2 : “○” indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence. 備考3. “—” 係指該項限用物質為排除項目。 Note3 : The “-” indicates that the restricted substance corresponds to the exemption.						

台灣地域の輸出入お問い合わせ先情報

台灣地域の輸出入情報に関する連絡先を入手できます。

委製商/進口商名稱: 台灣聯想環球科技股份有限公司
 進口商地址: 台北市南港區三重路 66 號 8 樓
 進口商電話: 0800-000-702

